

横須賀美術館で実施した来館者アンケートの集計分析報告

2008年2月

北海道大学大学院文学研究科 佐々木亨研究室

調査実施対象

- (1) 2007 年 7 月 28 日～2007 年 9 月 17 日 ウォリス展（調査方法：留め置き式）857 件回収
 - (2) 2007 年 10 月 6 日～2007 年 11 月 11 日 澁澤展（調査方法：留め置き式）363 件回収
 - (3) 2007 年 12 月 1 日～2007 年 12 月 16 日 清宮展（調査方法：配付式）607 件回収
- ＜別紙 1＞ アンケート票

各アンケートにおける「観覧/利用していない」との回答と欠損値の合計が、回収件数に占める率（％）

	企画展	所蔵品展	谷内六郎館	ショップ	レストラン	図書室
ウォリス展	33.8	32.0	51.2	51.1	61.3	68.0
澁澤展	36.1	43.0	55.6	59.2	70.5	76.0
清宮展	16.3	11.5	18.8			

<目次>

1 単純集計	4
(1) 3 アンケートにみる来館者属性など	4
(2) 3 アンケートにみる企画展、所蔵品展、谷内六郎館における来館者にとっての満足度	10
(3) 2 アンケート（ウォリス展・澁澤展）にみるミュージアムショップ、レストラン、図書室における来館者にとっての満足度	22
(4) 3 アンケートにみるスタッフに関する来館者にとっての満足度	25
(5) 1 アンケート（清宮展）における自由回答「お客様にとって、横須賀美術館はひとことで言うとどんな存在ですか。」	26
2 クロス集計	27
(1) 3 アンケートにおける「認知媒体」×年齢、性別、居住地、来館回数	27
(2) 1 アンケート（清宮展）における「総合満足度」（企画展、所蔵品展、谷内六郎館）×年齢、性別、居住地、来館回数	33
3 重回帰分析	35
(1) 1 アンケート（清宮展）における「総合満足度」（企画展、所蔵品展、谷内六郎館）と5因子の関係	35
4 提言	37
(1) 来館者調査に関する提言	37
(2) 事業評価に関する提言	37

<別紙1> アンケート票

<別紙2> 清宮展アンケートの自由回答「お客様にとって、横須賀美術館はひとことで言うとどんな存在ですか。」（非公開）

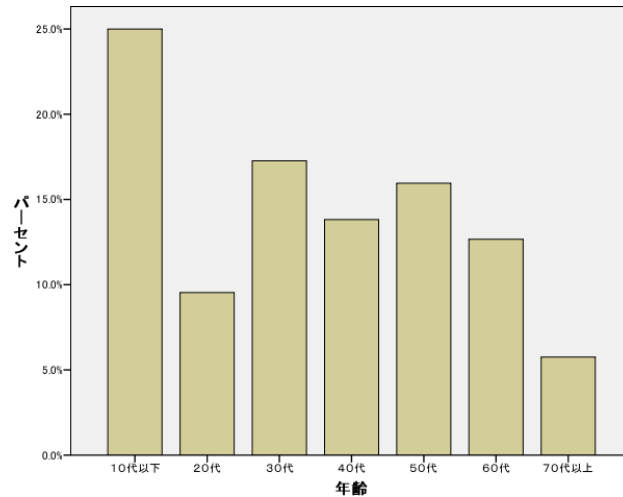
1 単純集計

(1) 3 アンケートにみる来館者属性など

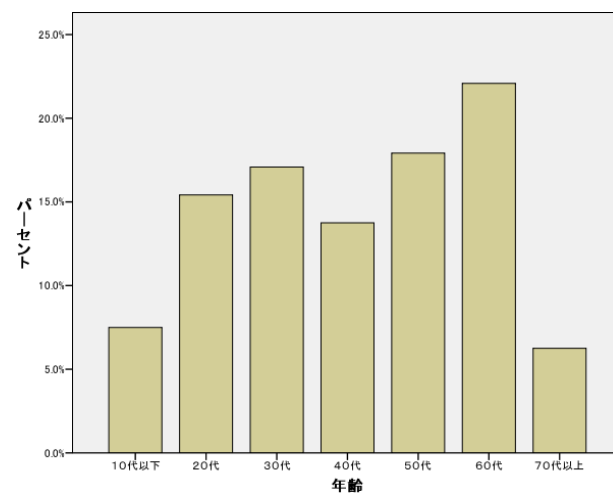
【年齢】

主要な来館者層は50－60代か。澁澤展では20－30代の来館が目立つ。ウォリス展での10代以下の多さはなぜか。

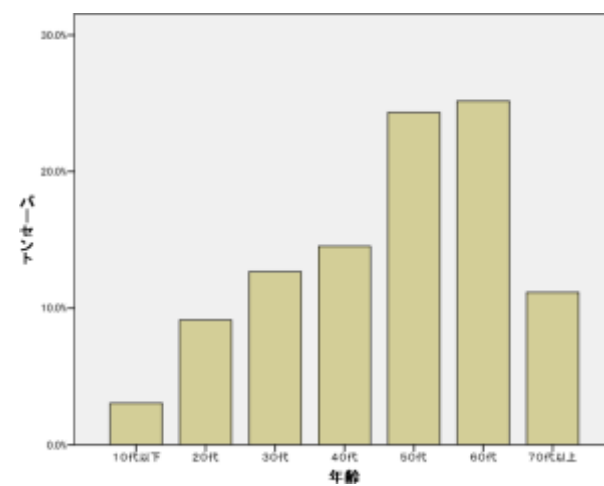
ウォリス展



澁澤展



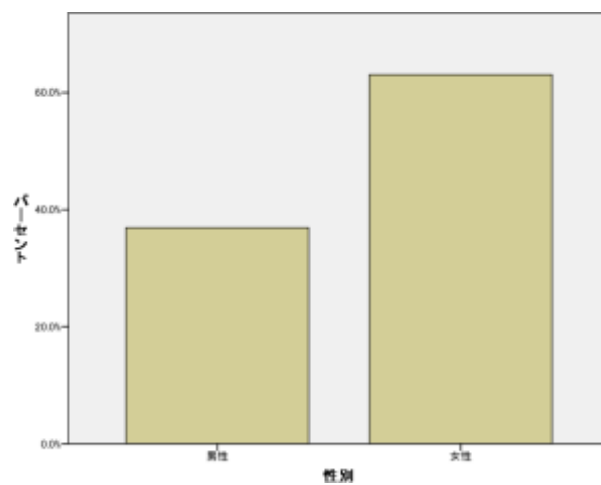
清宮展



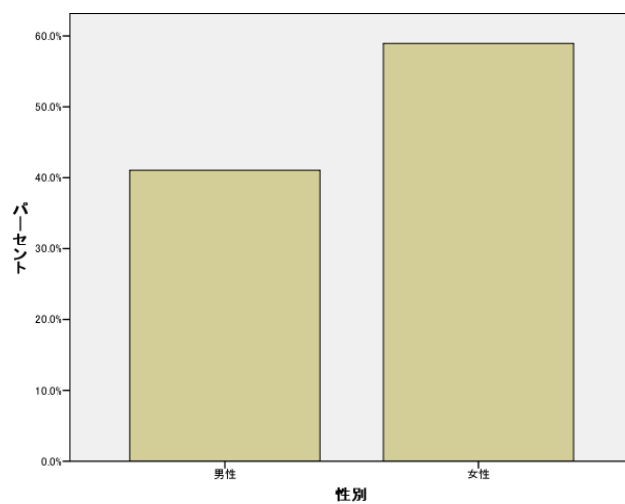
【性別】

どの展覧会でも、男：女の比はおおよそ4：6。

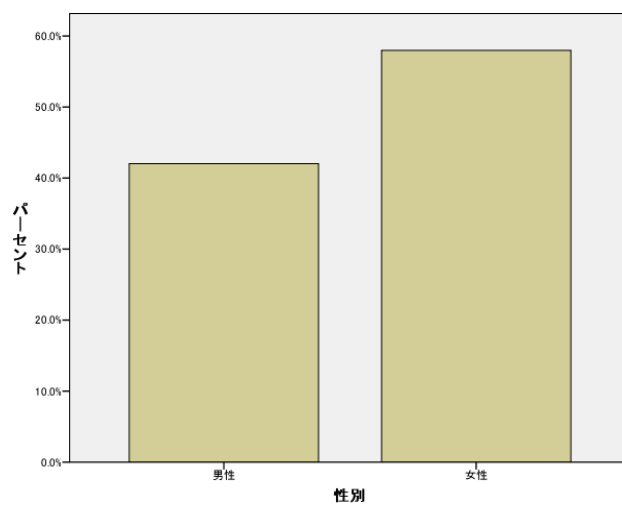
ウォリス展



澁澤展



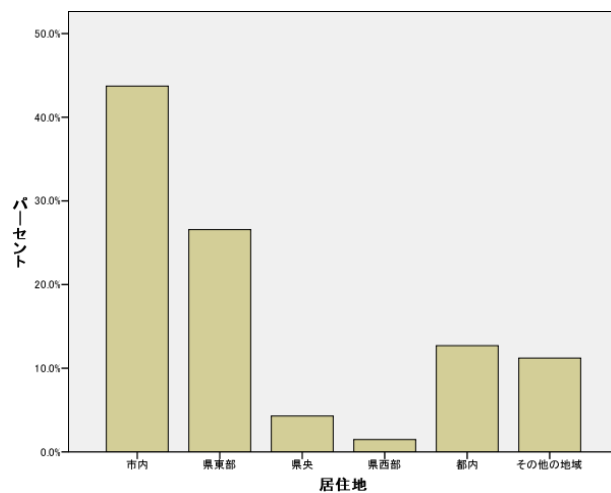
清宮展



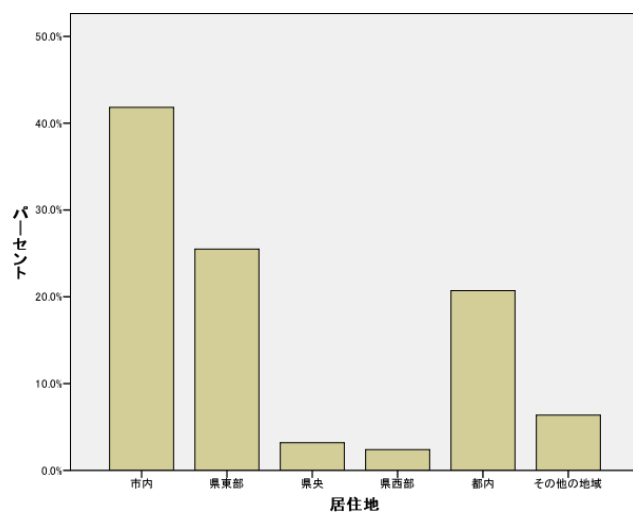
【居住地】

市内、県東部、都内が来館者の主要な居住地。都内（約20%）の多さに注目。県央、県西部からの来館者の少なさが目立っている。

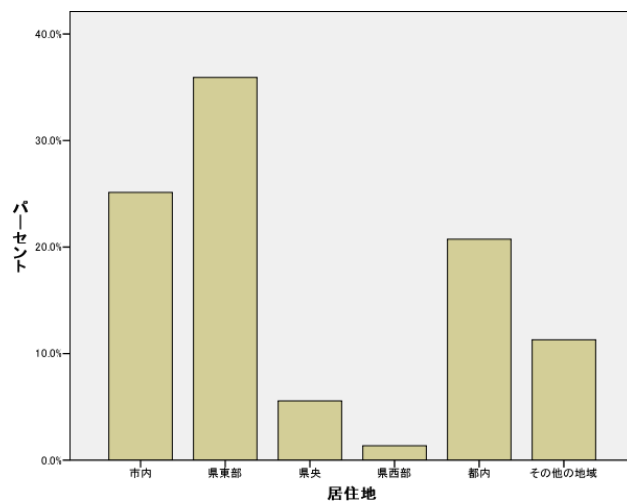
ウォリス展



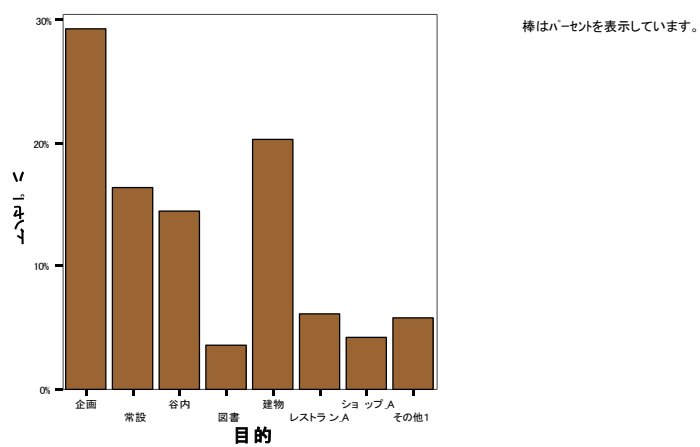
澁澤展



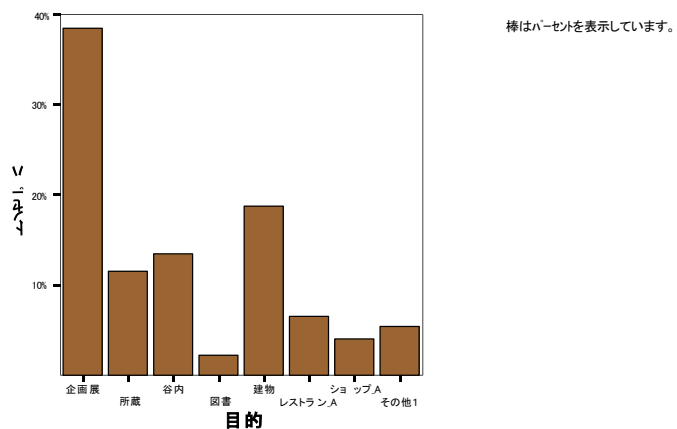
清宮展



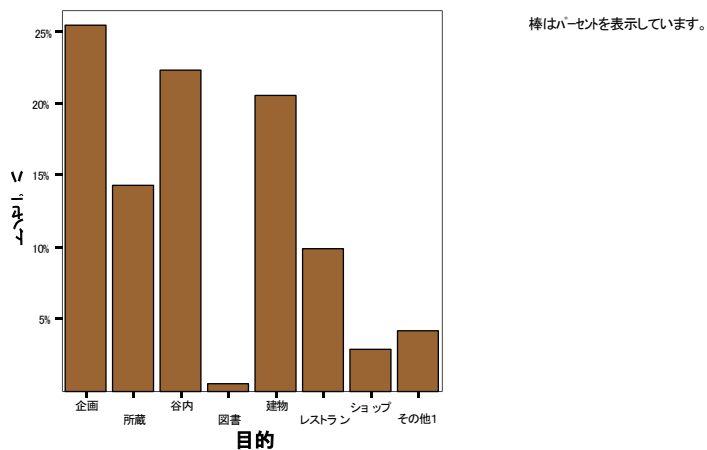
【来館目的】（複数回答）どれでも企画展目的が、25－40％と最も多い。建物見学が20％程度あり目立っている。所蔵品展10－15％、谷内六郎館15－20％
ウォリス展



澁澤展

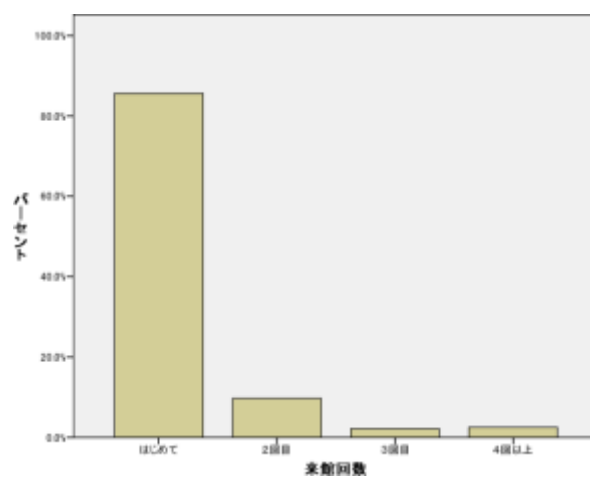


清宮展

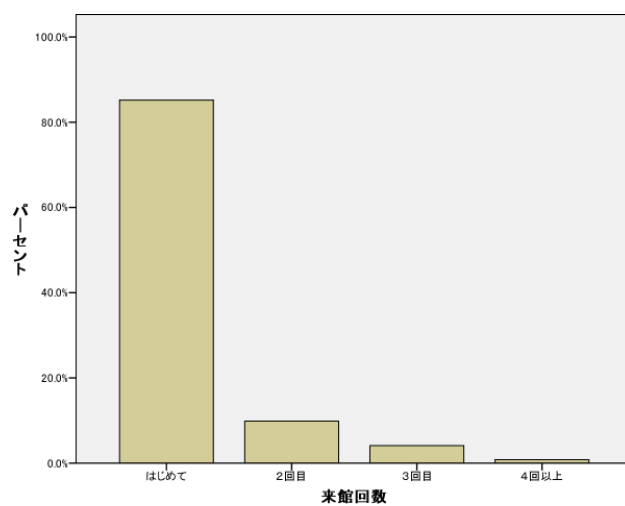


【来館回数】はじめてが80%。今後、この数字を、何年間でどれくらいにしたいかが重要となりそう。

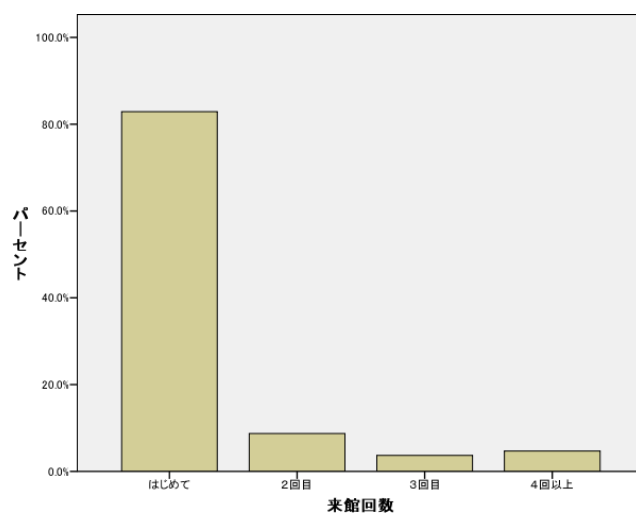
ウォリス展



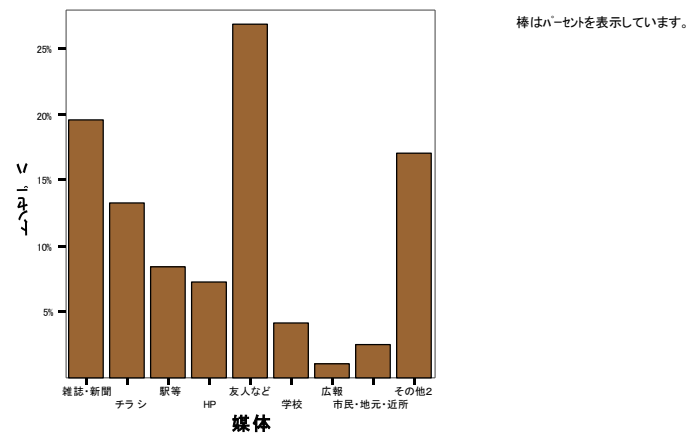
澁澤展



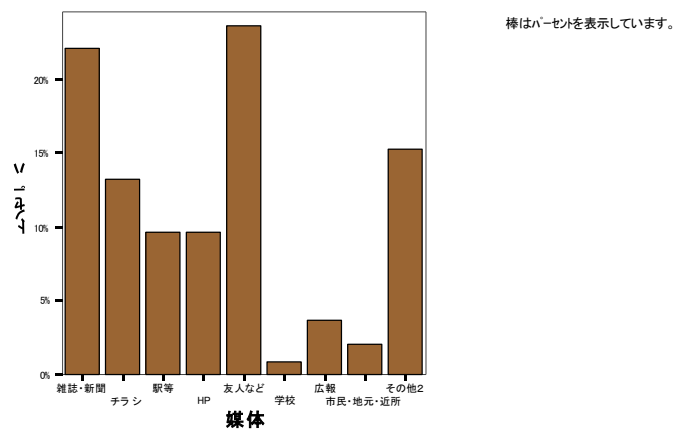
清宮展



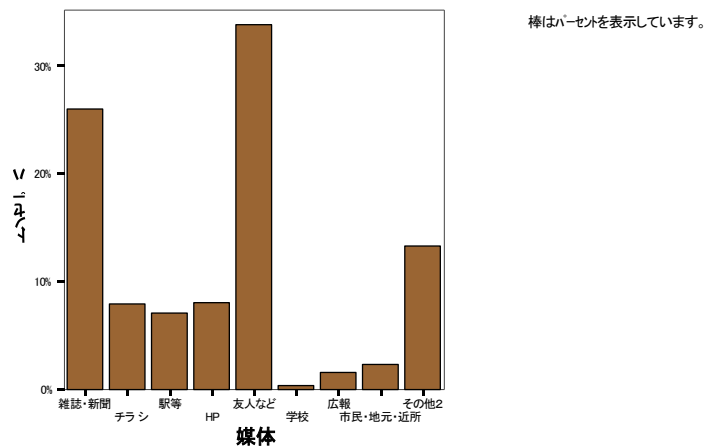
【認知媒体】（複数回答）「友人・家族からの紹介」がどの企画展でも25－30％と一番高い。次いで、「雑誌・新聞」が20－25％。
ウォリス展



澁澤展



清宮展



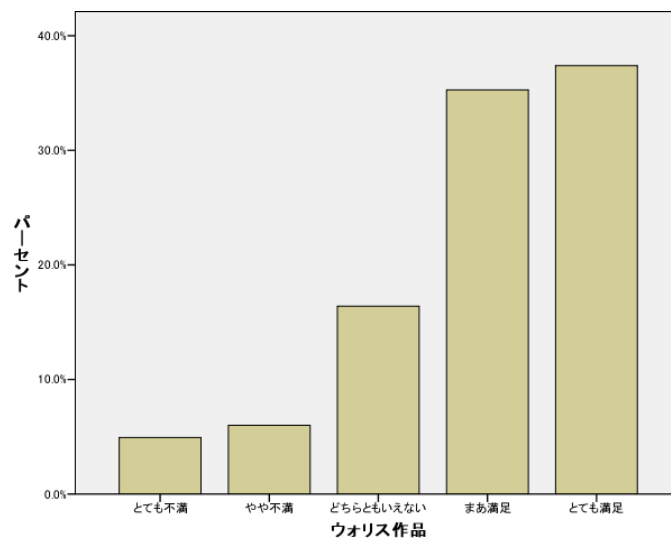
(2) 3 アンケートにみる企画展、所蔵品展、谷内六郎館における来館者にとっての満足度

* 満足度に関しては、報告者の経験から、5段階で上位2つのカテゴリー：「まあ満足」と「とても満足」の合計が60%以上であれば良しとしました。

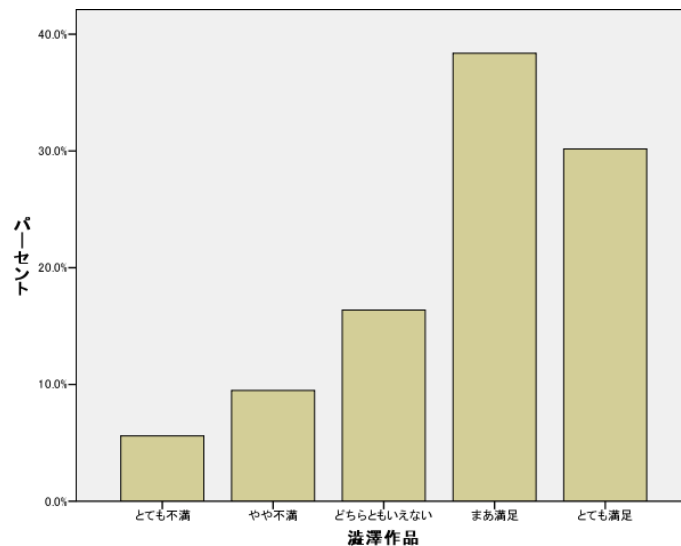
■ウォリス展・澁澤展

【企画展：出品作品について】ウォリス展、澁澤展ともに満足度（まあ満足＋とても満足）が60%を超えている。

ウォリス展

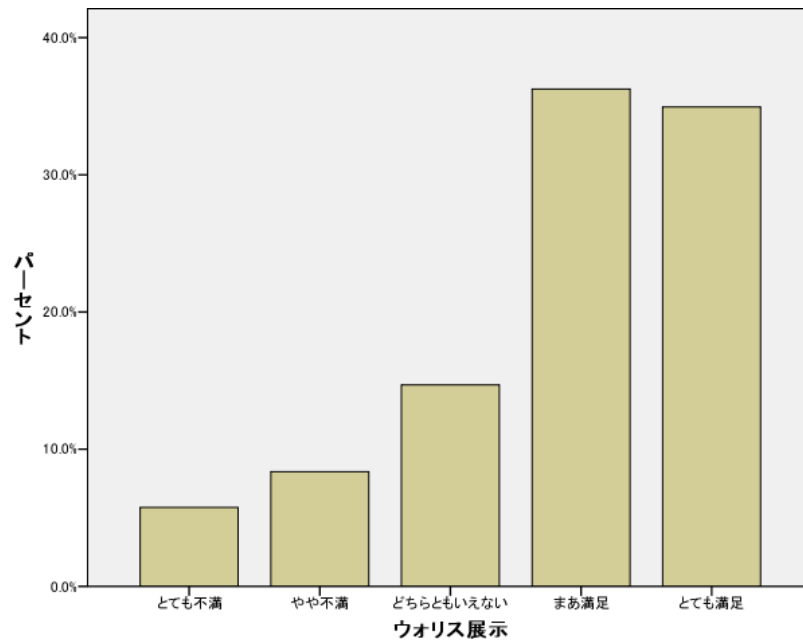


澁澤展

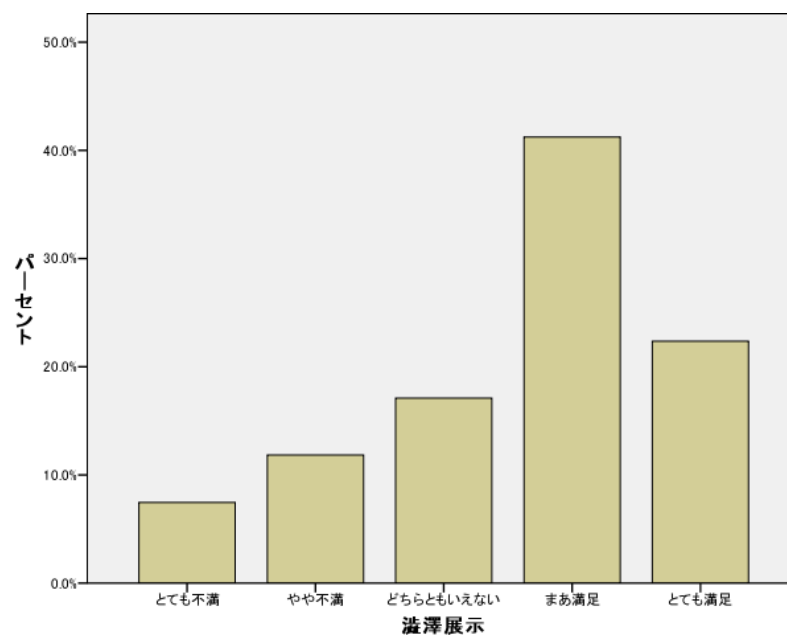


【企画展：展示の見やすさ、わかりやすさ】ウォリス展、澁澤展ともに満足度（まあ満足＋とても満足）が60%を超えている。

ウォリス展

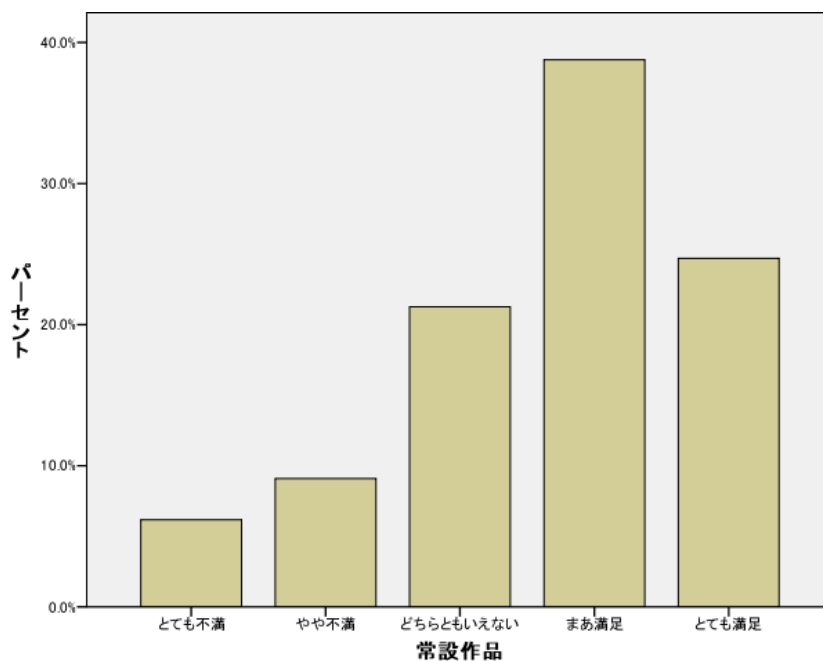


澁澤展

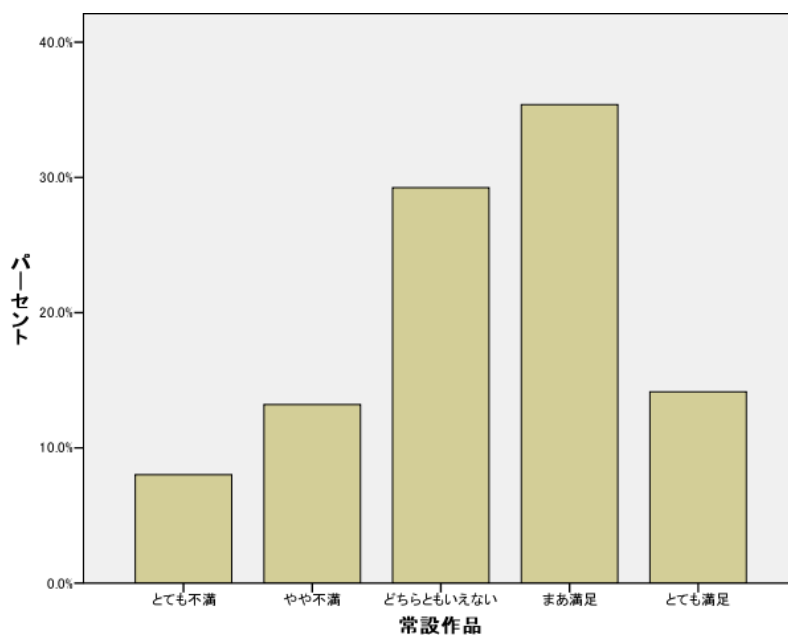


【所蔵品展：出品作品について】澁澤展アンケートでの所蔵品展の満足度（まあ満足＋とても満足）が約５０％と危険領域。

ウォリス展

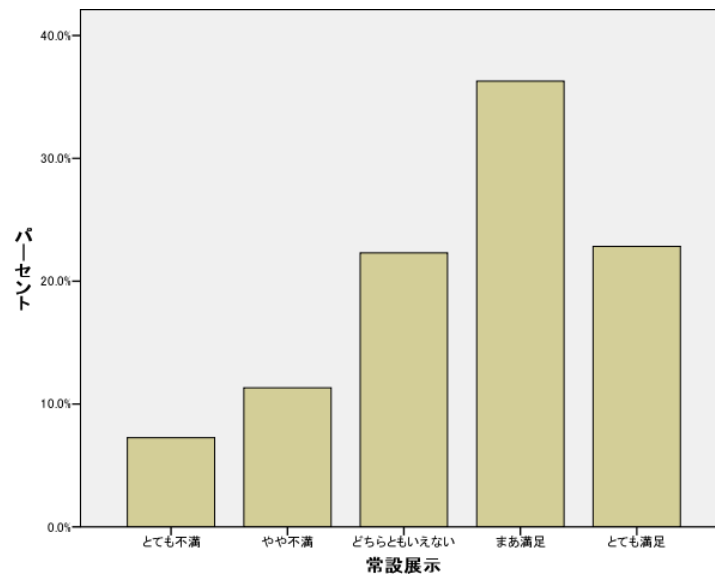


澁澤展

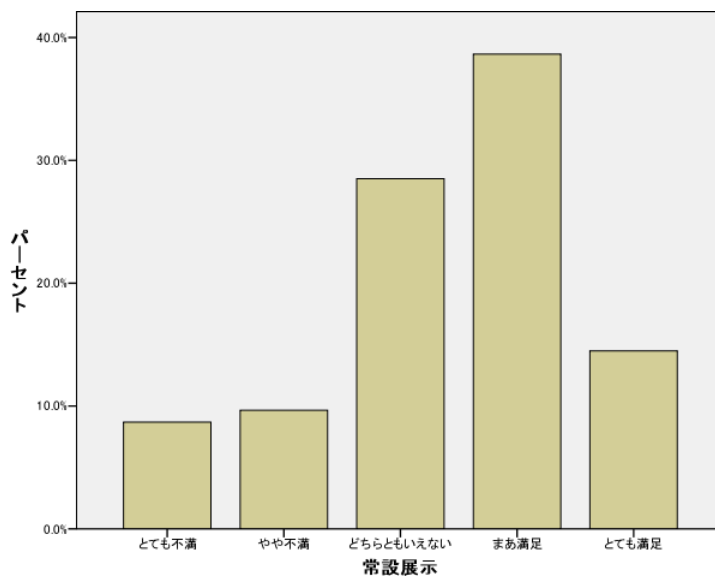


【所蔵品展：展示の見やすさ、わかりやすさ】澁澤展アンケートでの所蔵品展の満足度（まあ満足＋とても満足）が約５０％と危険領域。

ウォリス展

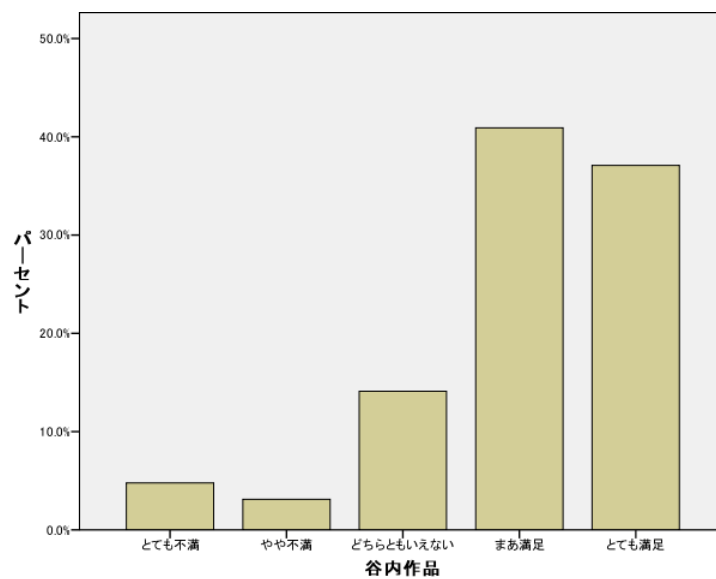


澁澤展

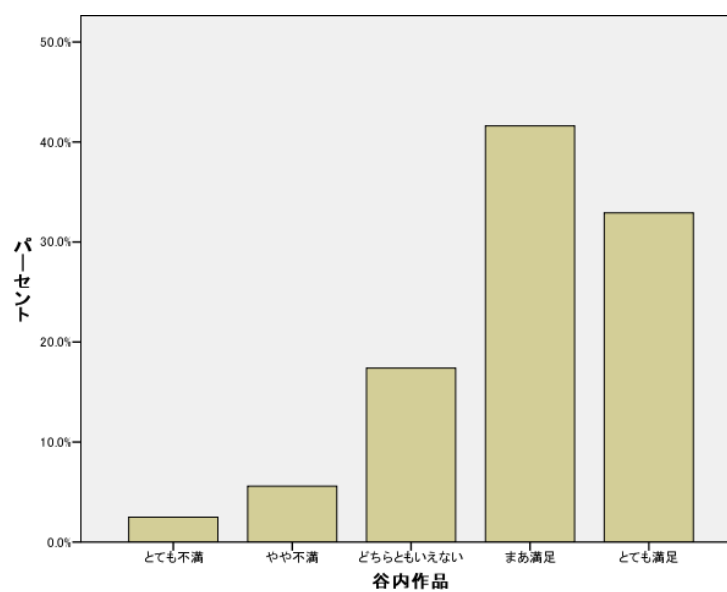


【谷内六郎館：出品作品について】ウォリス展、澁澤展での谷内六郎館の満足度（まあ満足＋とても満足）は約８０％と極めて高い。

ウォリス展

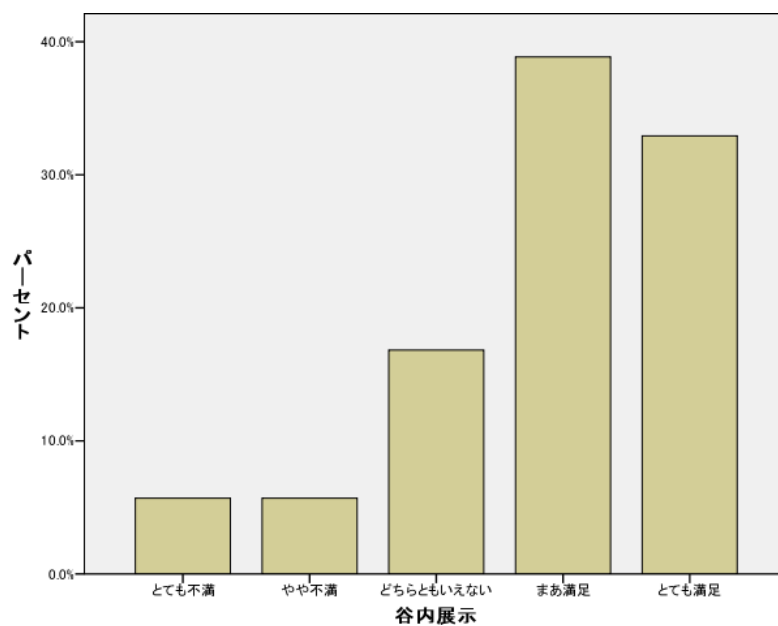


澁澤展

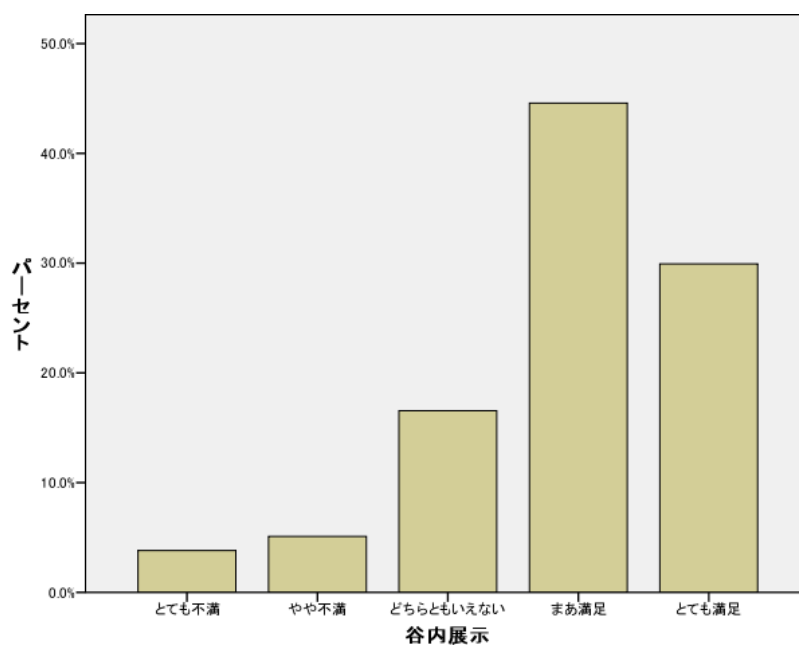


【谷内六郎館：展示の見やすさ、わかりやすさ】ウォリス展、澁澤展での谷内六郎館の満足度（まあ満足＋とても満足）は約70％と極めて高い。

ウォリス展



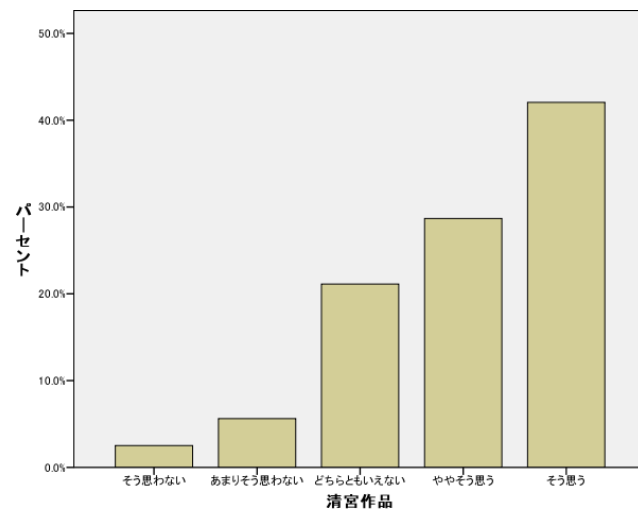
澁澤展



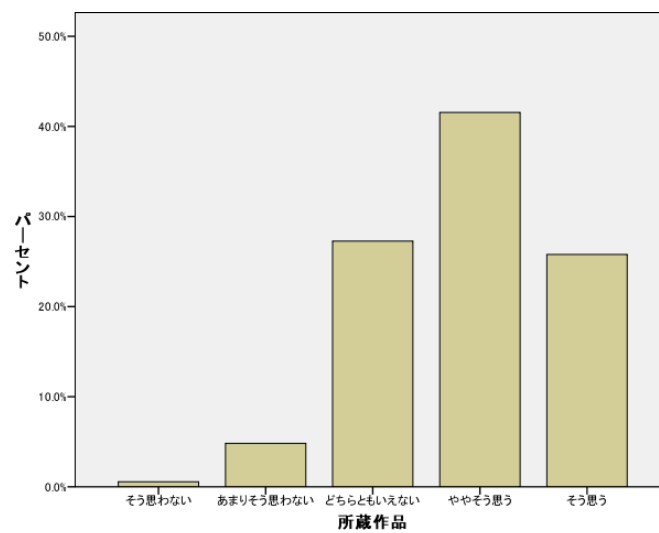
■ 清宮展

【展示されている作品が気に入った、または興味深かった。】どの展示も満足度（まあ満足＋とても満足）が70%超と極めて高い。

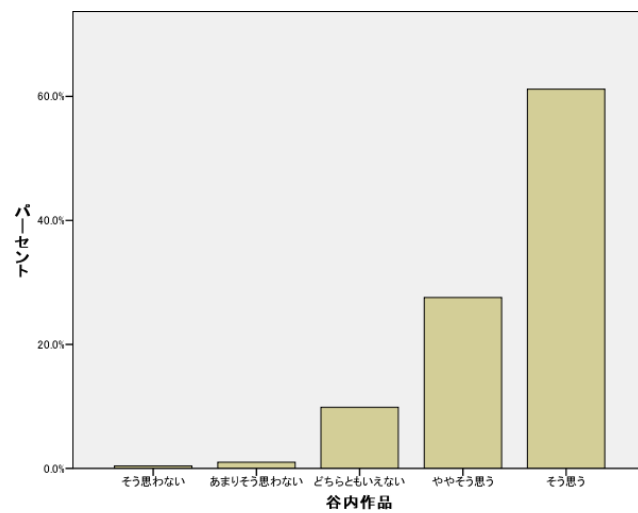
企画展



所蔵品展

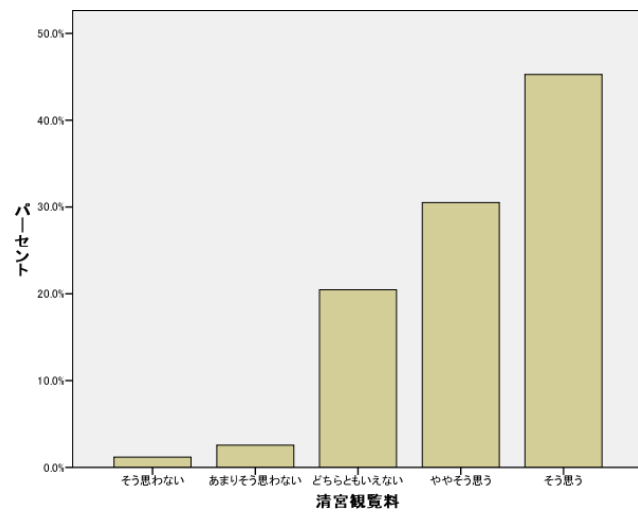


谷内六郎館

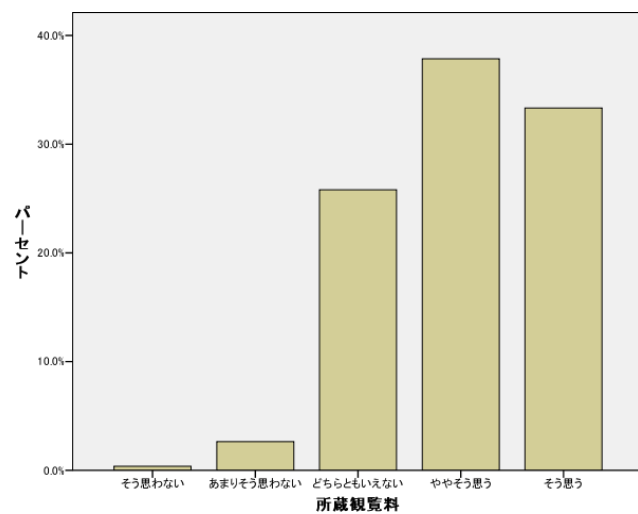


【観覧料に見合うだけの内容だった。】どの展示も満足度（まあ満足＋とても満足）が70%超と極めて高い。

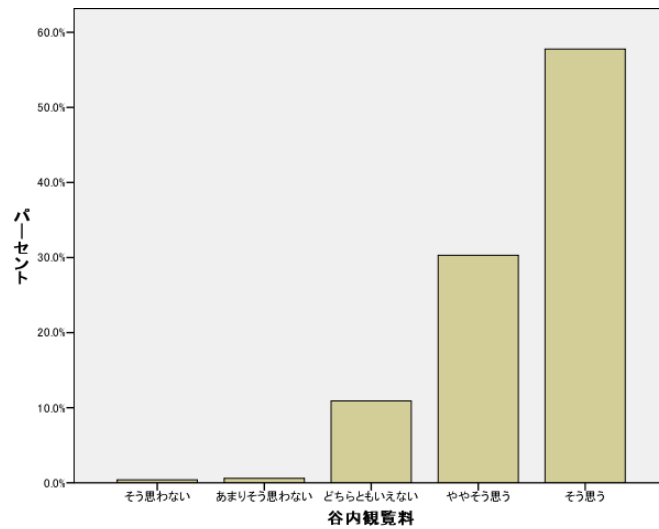
企画展



所蔵品展

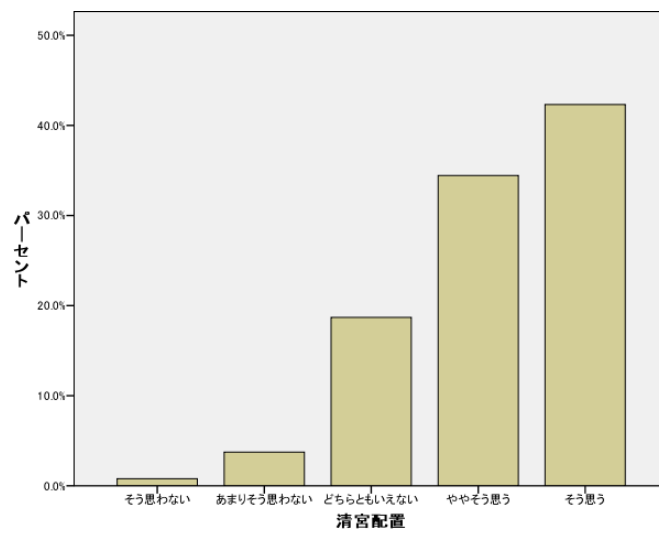


谷内六郎館

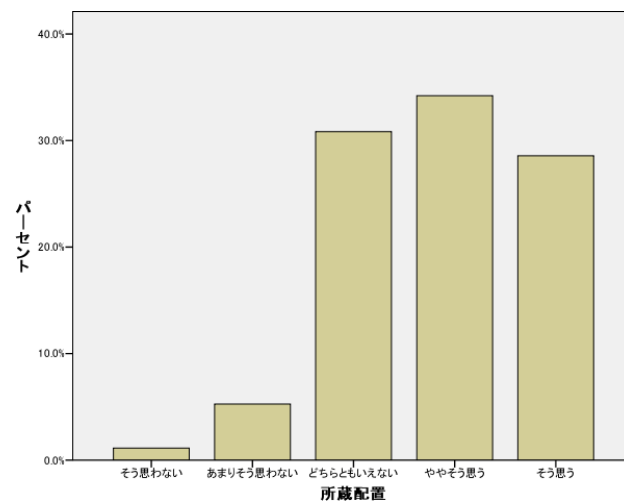


【作品が効果的に配置され、見やすかった。】所蔵品展の「どちらともいえない」が30%を超えている点が気になる。

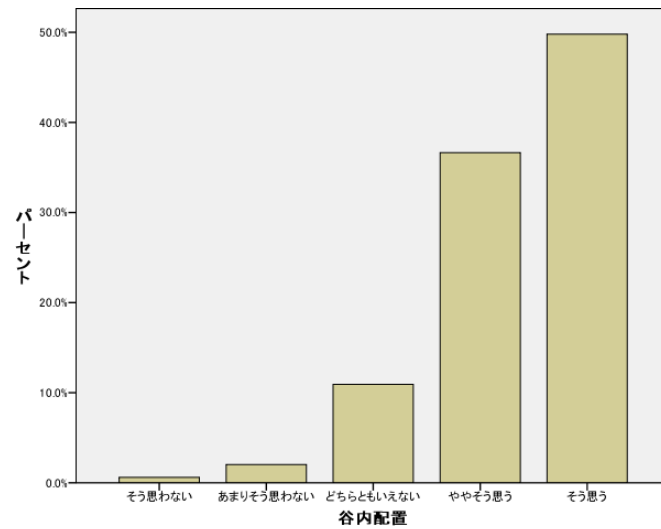
企画展



所蔵品展

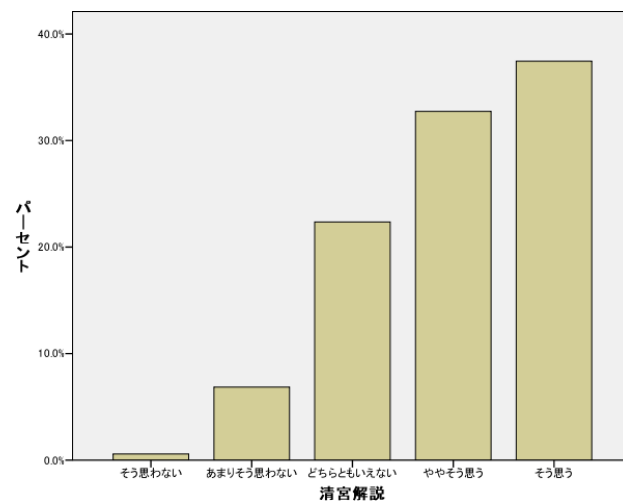


谷内六郎館

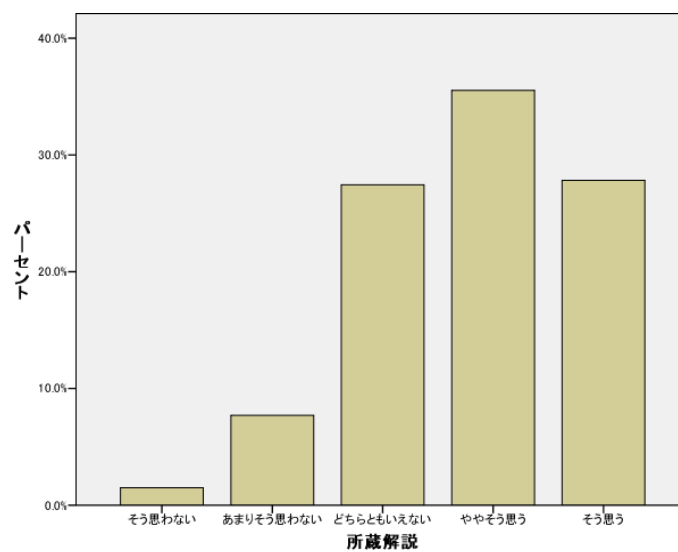


【解説や順路はわかりやすかった。】どの展示も満足度（まあ満足＋とても満足）が60%超である。

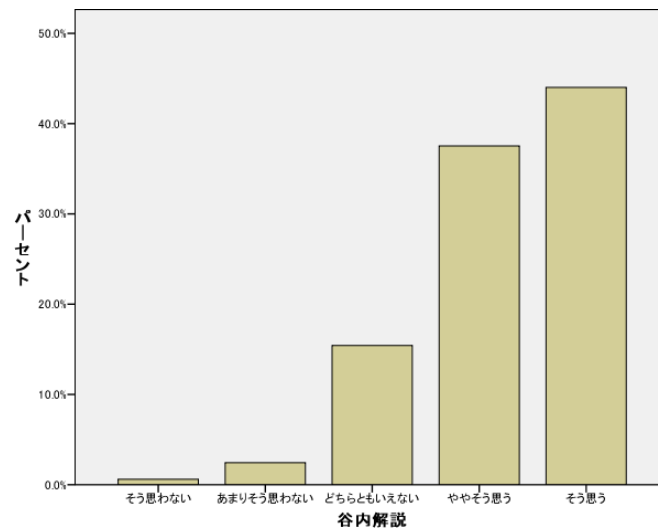
企画展



所蔵品展

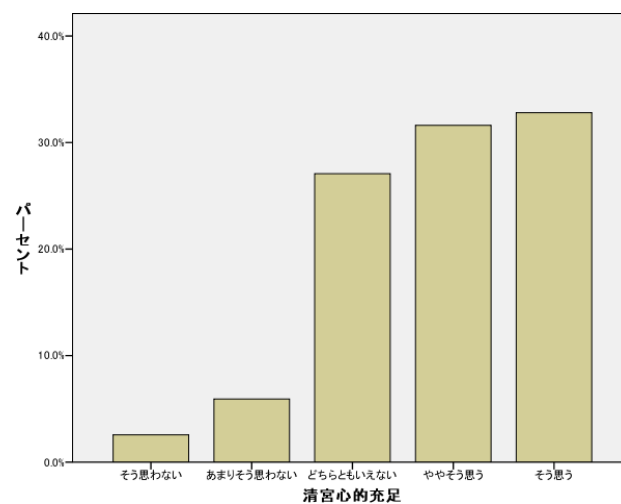


谷内六郎館

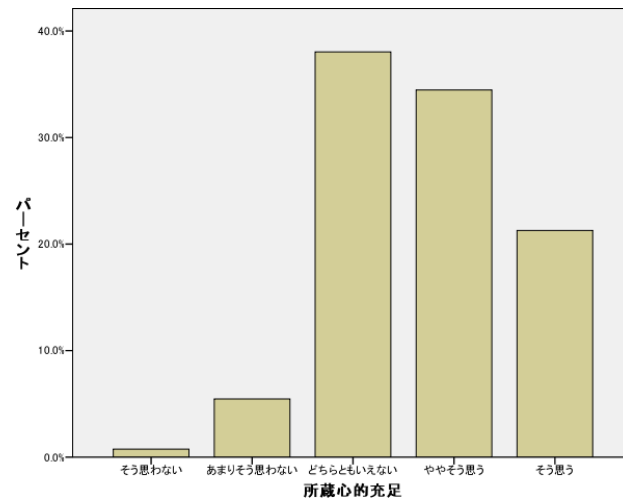


【展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた。】谷内六郎館の満足度（まあ満足＋とても満足）は70%超、企画展60%超、所蔵品展60%以下と差がついている。

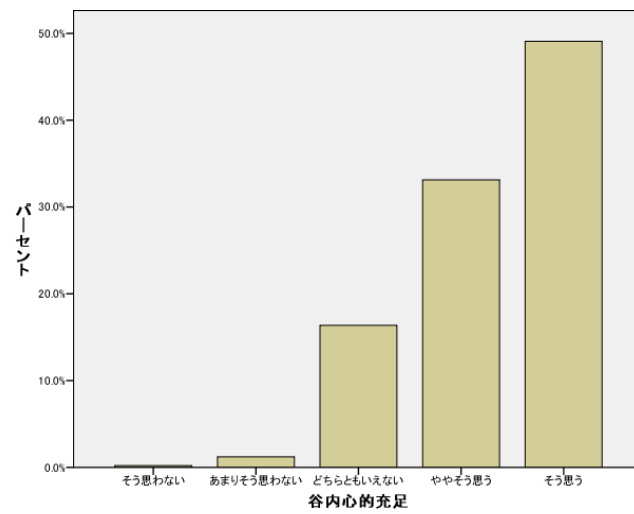
企画展



所蔵品展

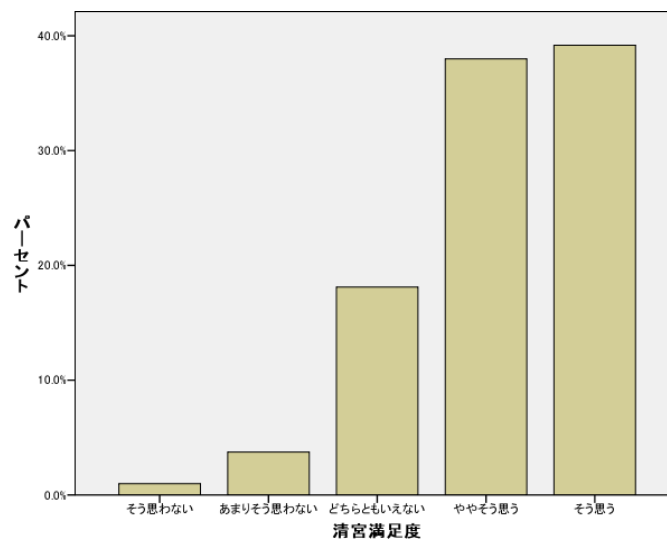


谷内六郎館

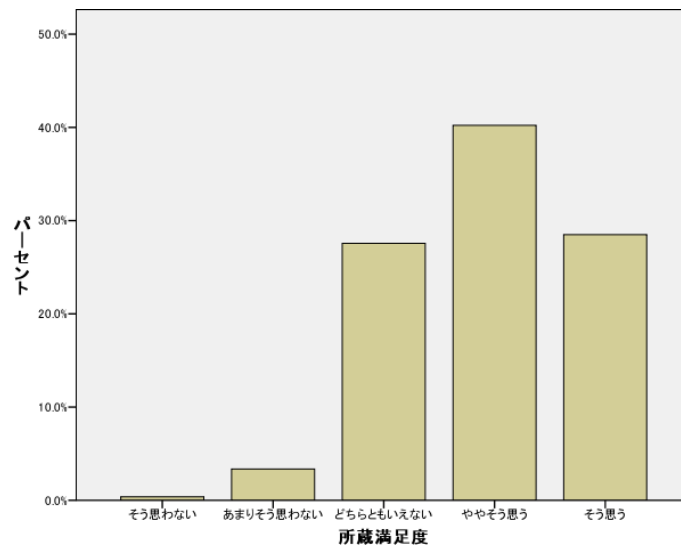


【以上を総合的にみて、満足できる展覧会だった。】重回帰分析３５ページで、上述の５因子との関係を説明。

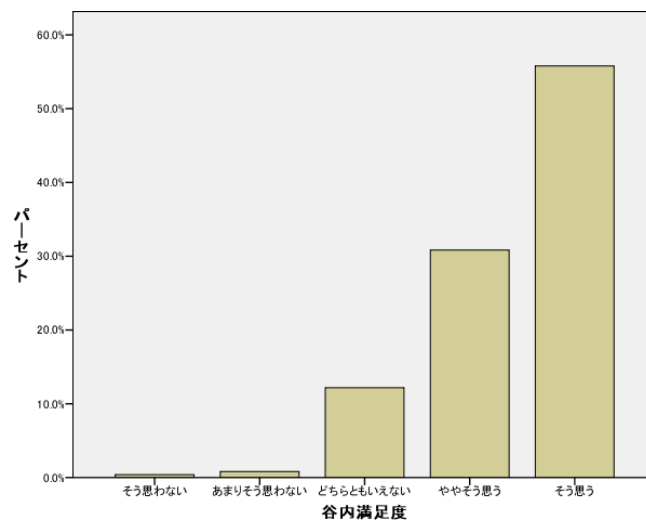
企画展



所蔵品展



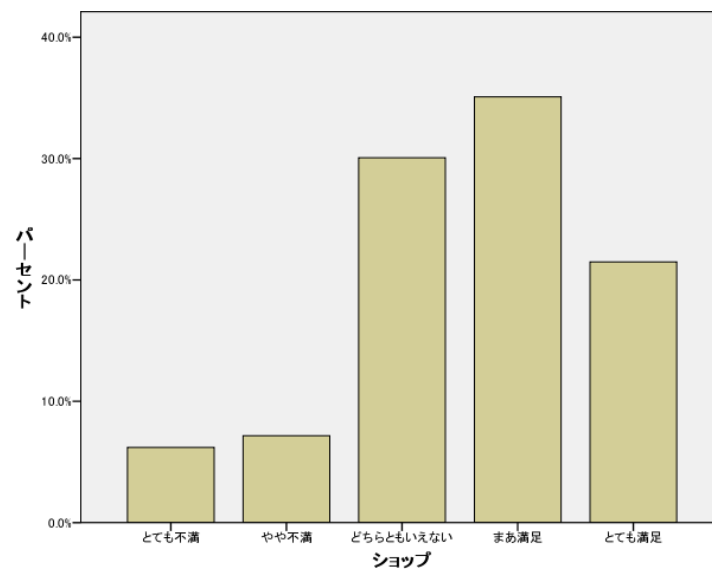
谷内六郎館



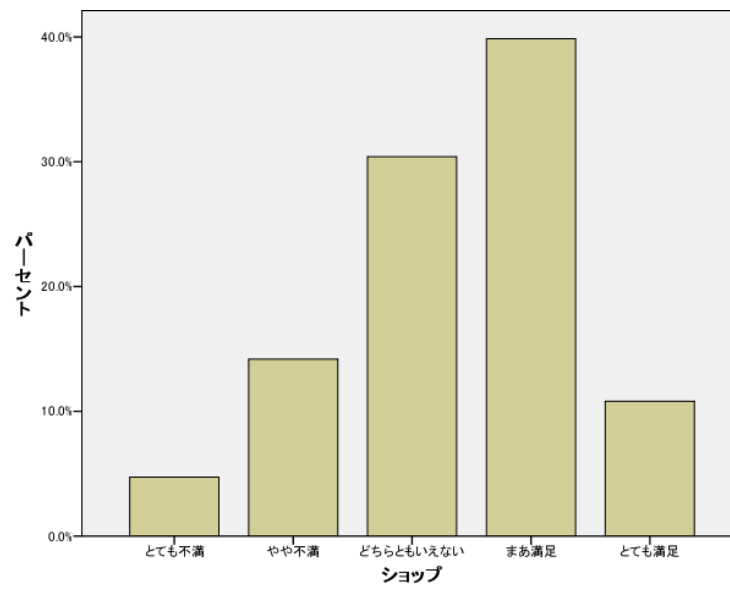
(3) 2アンケート（ウォリス展・澁澤展）にみるミュージアムショップ、レストラン、図書室における来館者にとっての満足度

【ミュージアムショップ】満足度（まあ満足＋とても満足）がどちらも60%以下である。

ウォリス展

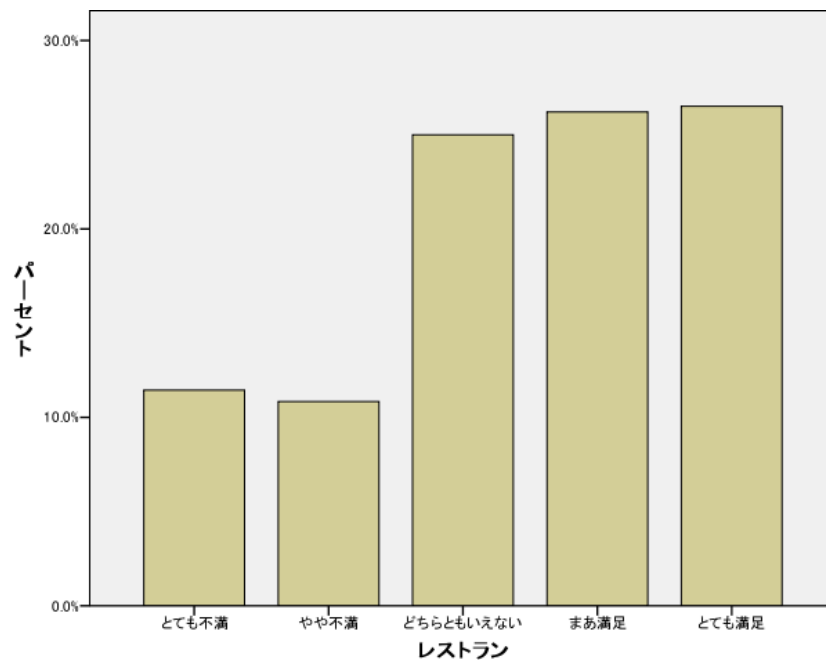


澁澤展

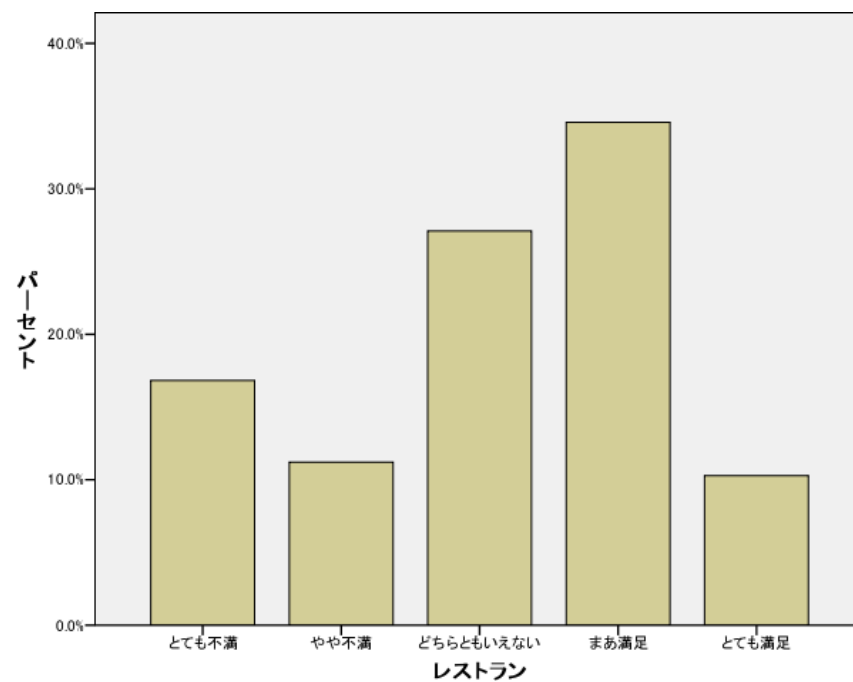


【レストラン】満足度（まあ満足＋とても満足）がどちらも60%以下であるとともに、「とても不満」＋「やや不満」の合計が20%を超えているのはかなり問題。

ウォリス展

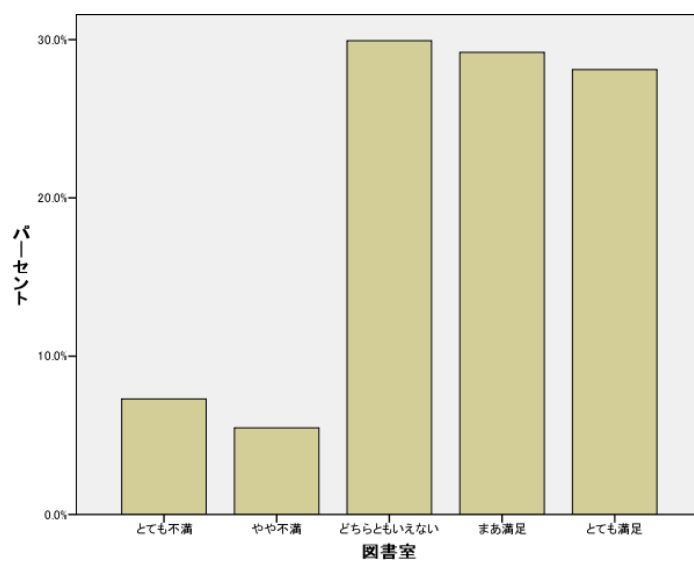


澁澤展

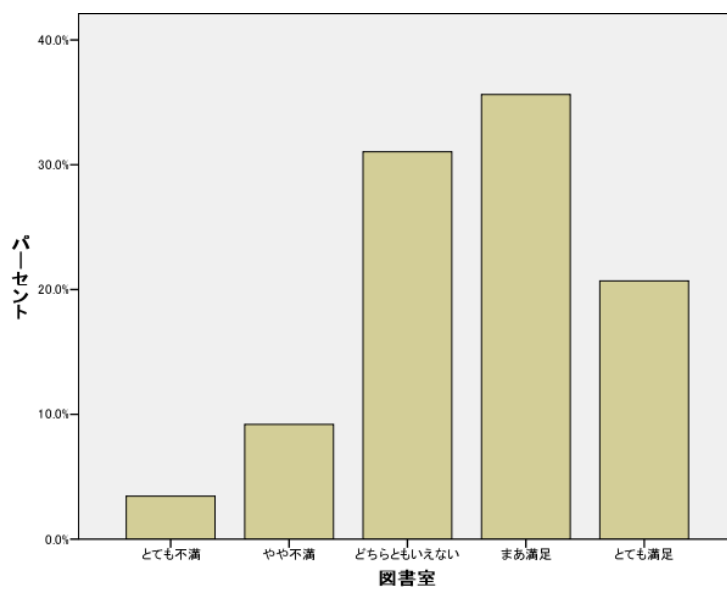


【図書室】満足度（まあ満足＋とても満足）がどちらも60%以下である。

ウォリス展



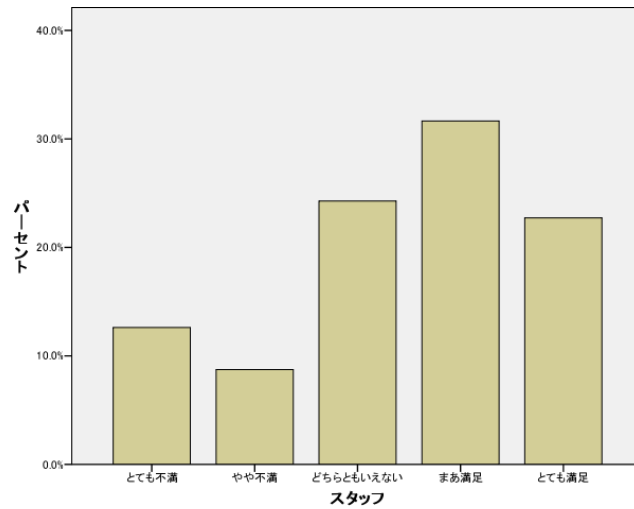
澁澤展



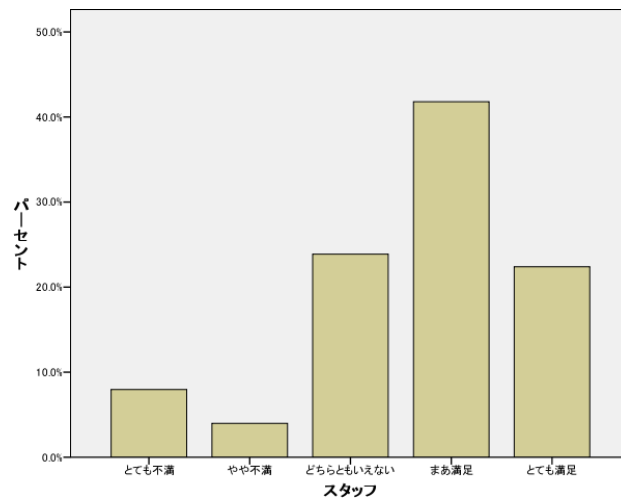
（４）３アンケートにみるスタッフ対応に関する来館者にとっての満足度

ウォリス展を除いて、満足度（まあ満足＋とても満足）が７０％程度であり良好。ウォリス展の満足度（６０％以下）の低くさ、不満（２０％超）の多さは何が原因か。

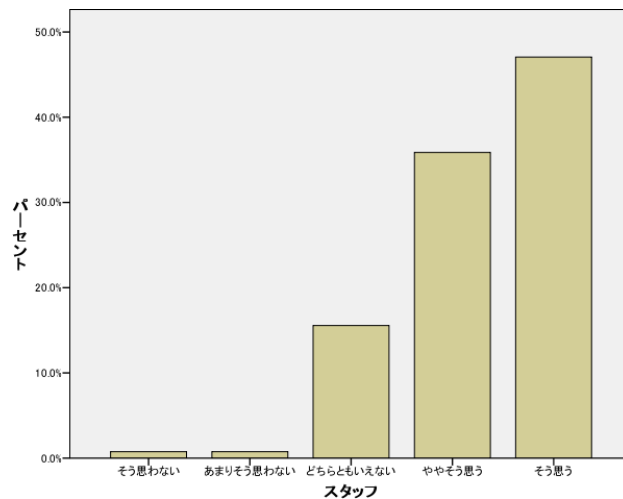
ウォリス展【スタッフの対応はいかがでしたか。】



澁澤展【スタッフの対応はいかがでしたか。】



清宮展【スタッフの対応は適切でしたか。】



(5) 1 アンケート（清宮展）における自由回答「お客様にとって、横須賀美術館はひとことで言うとどんな存在ですか。」

＜別紙 2＞ 参照

- ・ 居住地、来館回数の優先順位で自由回答を整理した。

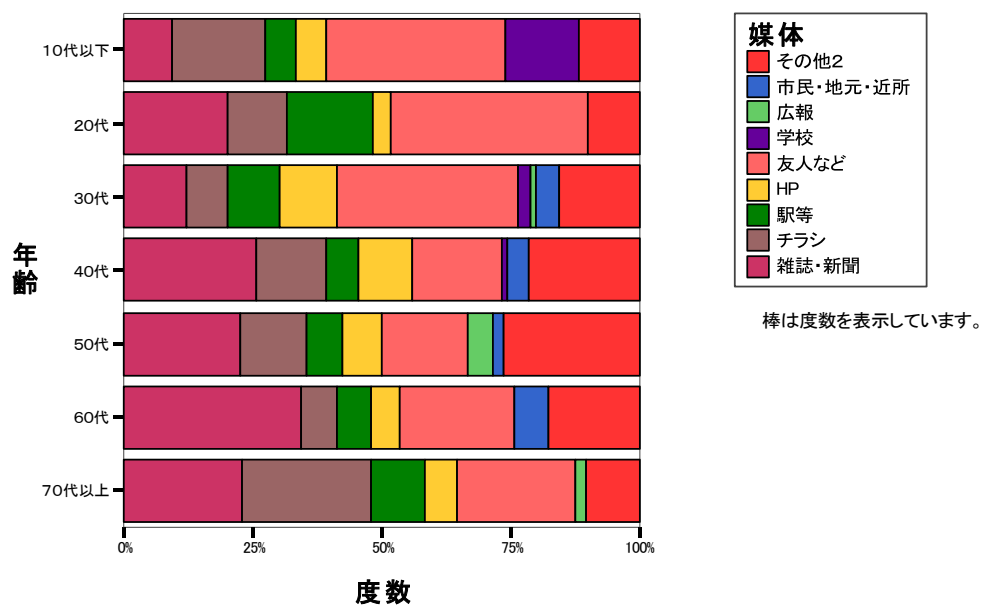
【全体的な傾向】

- ・ 「市内」「県東部」の方には、精神的・心的なメリット（安らぎ、癒し、気分転換など）をあげている回答が多い。しかし、批判的意見も少なくない。
- ・ 「都内」の方には、自然環境、ロケーション、建物に関する賞賛が目立つ。

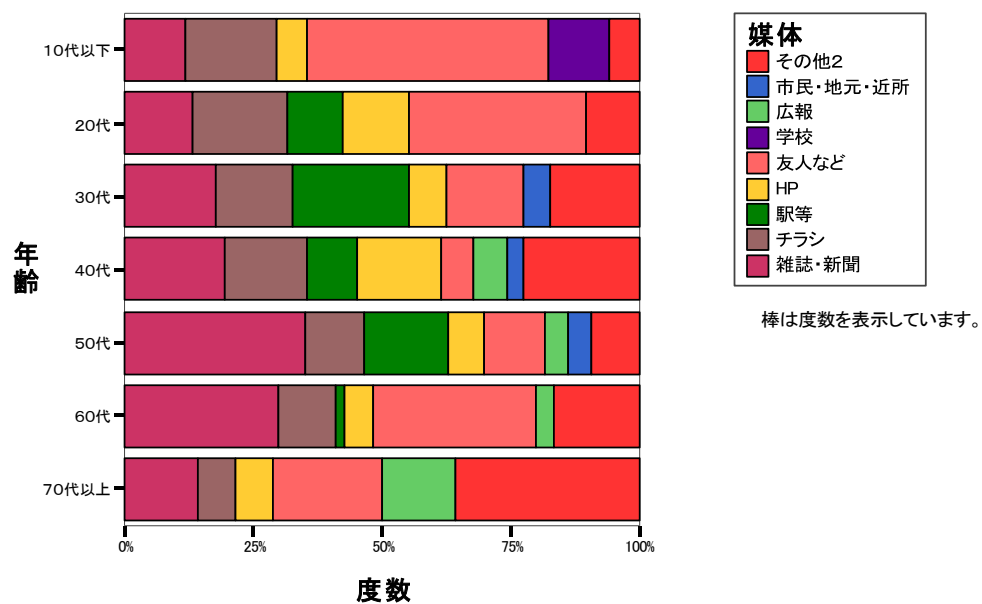
2 クロス集計

(1) 3 アンケートにおける「認知媒体」×年齢、性別、居住地、来館回数

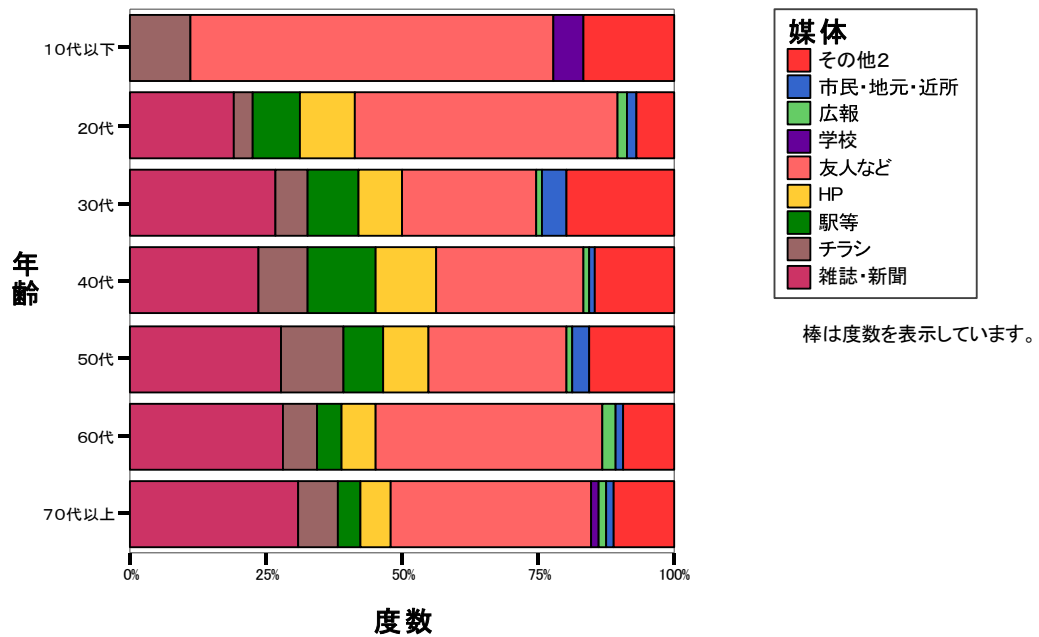
【「認知媒体」×年齢】3つの企画展に共通した傾向として、年代が高い層ではじっくり読むことができる紙媒体（「雑誌・新聞」、「チラシ」）が占める割合が高い。反対に口コミ（「友人・家族からの紹介」）は若い層で最も多くなっている。「HP」がすべての年代まで浸透している（清宮展の10代以下を除く）。ウォリス展



澁澤展

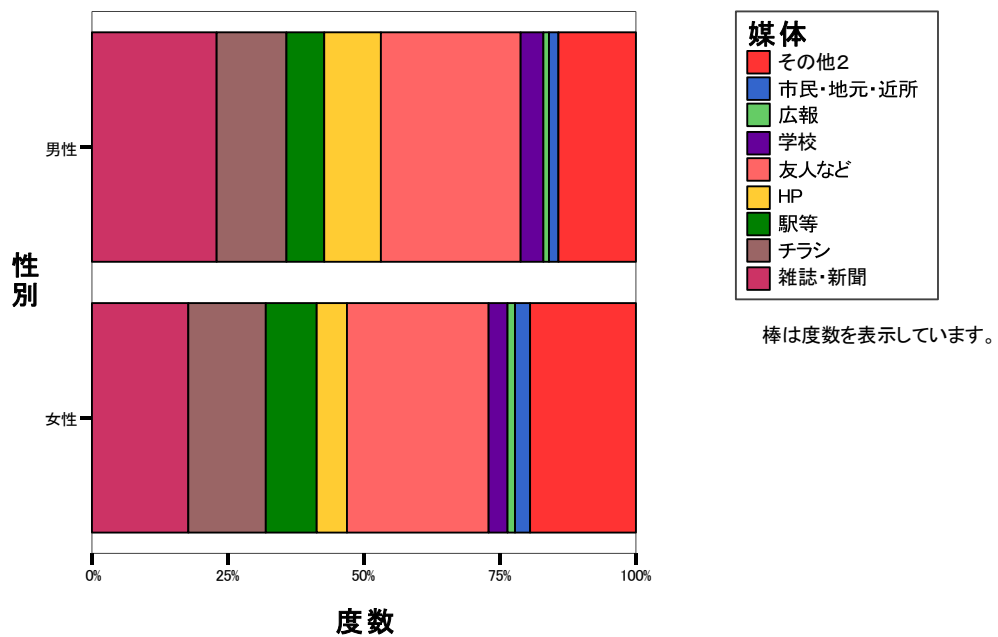


清宮展

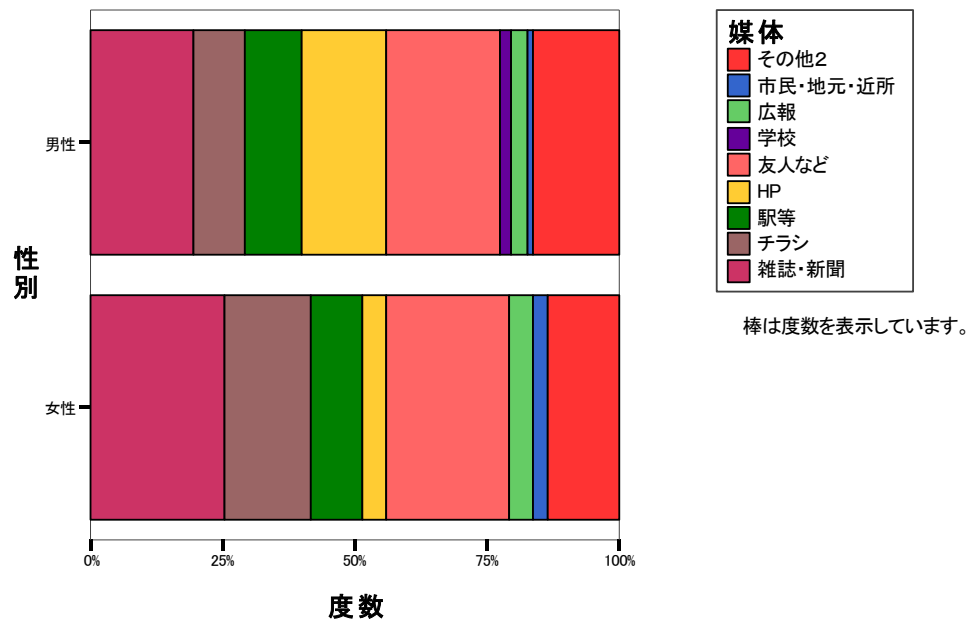


【「認知媒体」×性別】性別による差はほとんどみられないが、清宮展での「女性」の口コミ（「友人・家族からの紹介」）が高いことに注目。

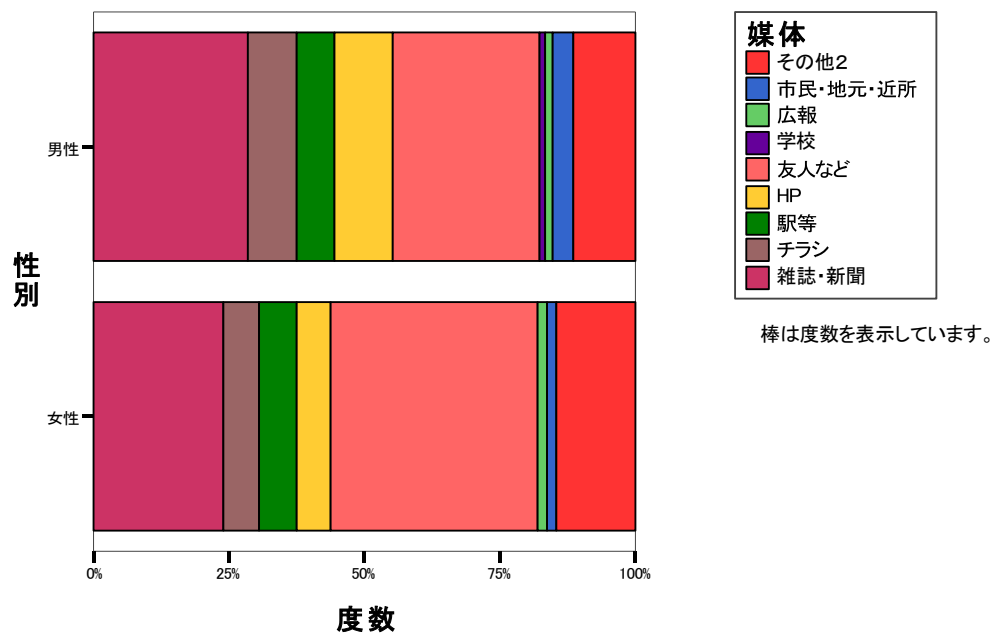
ウォリス展



澁澤展

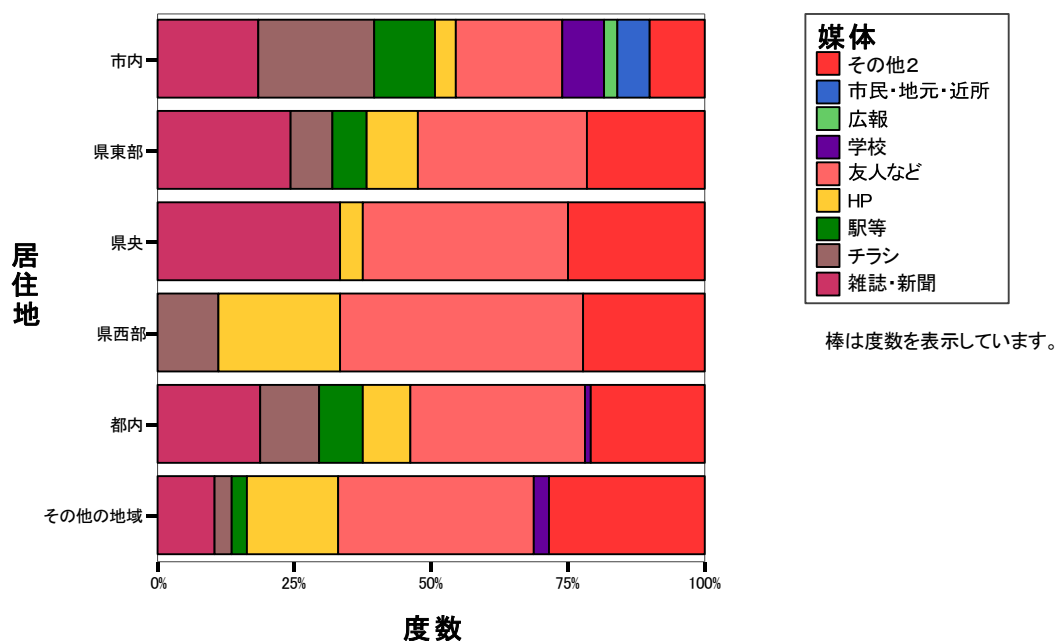


清宮展

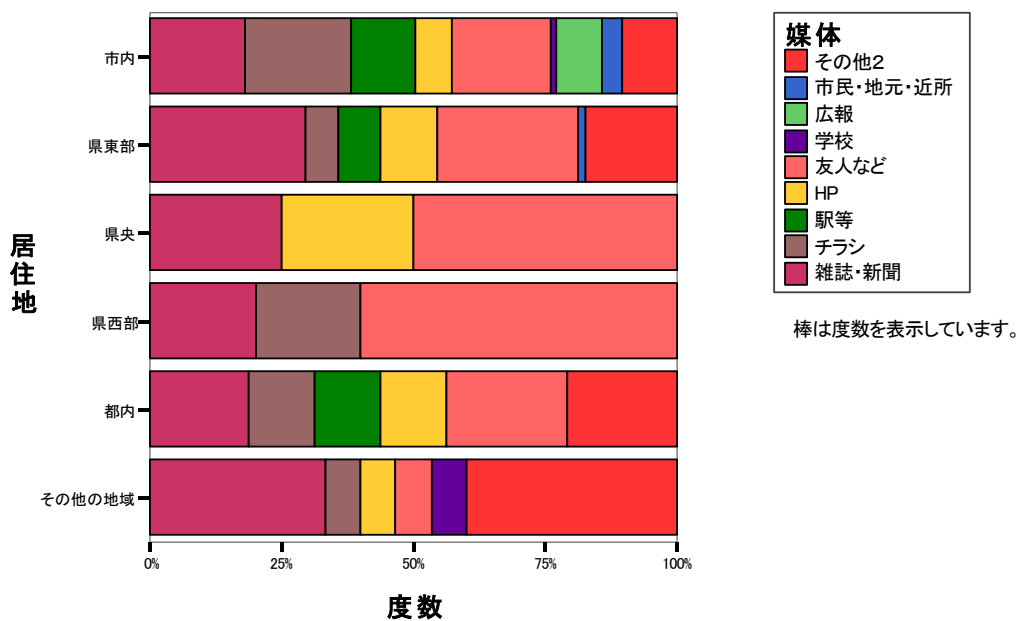


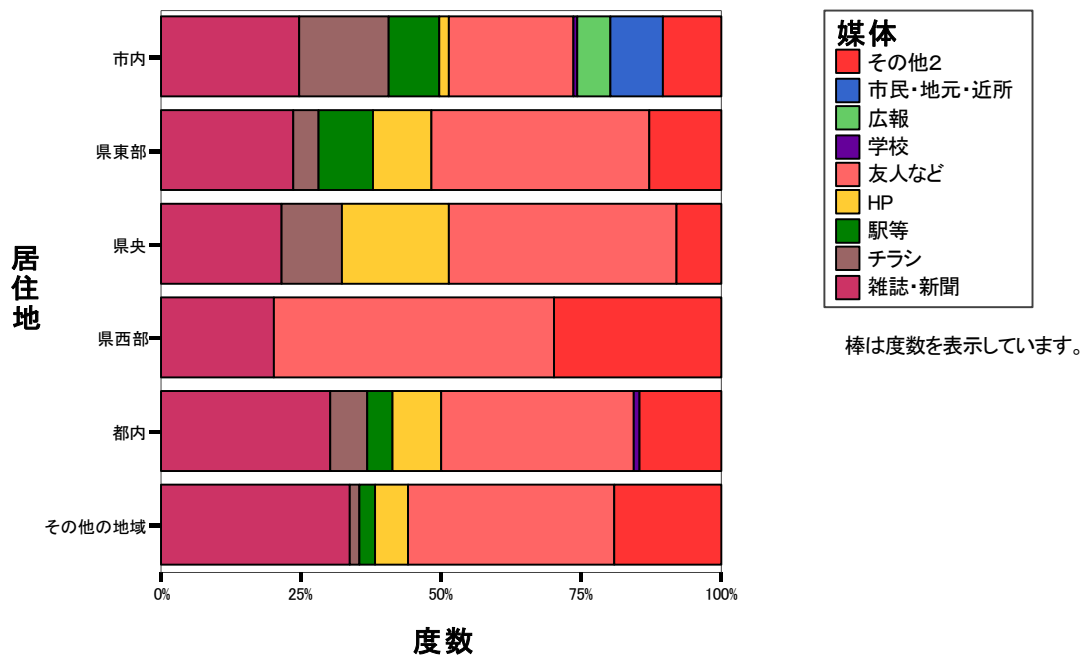
【「認知媒体」×居住地】各企画展時の広報戦略と、今回の集計結果（特に「市内」、「県東部」および「都内」）との隔たりを検証する必要があるのではないか。

ウォリス展



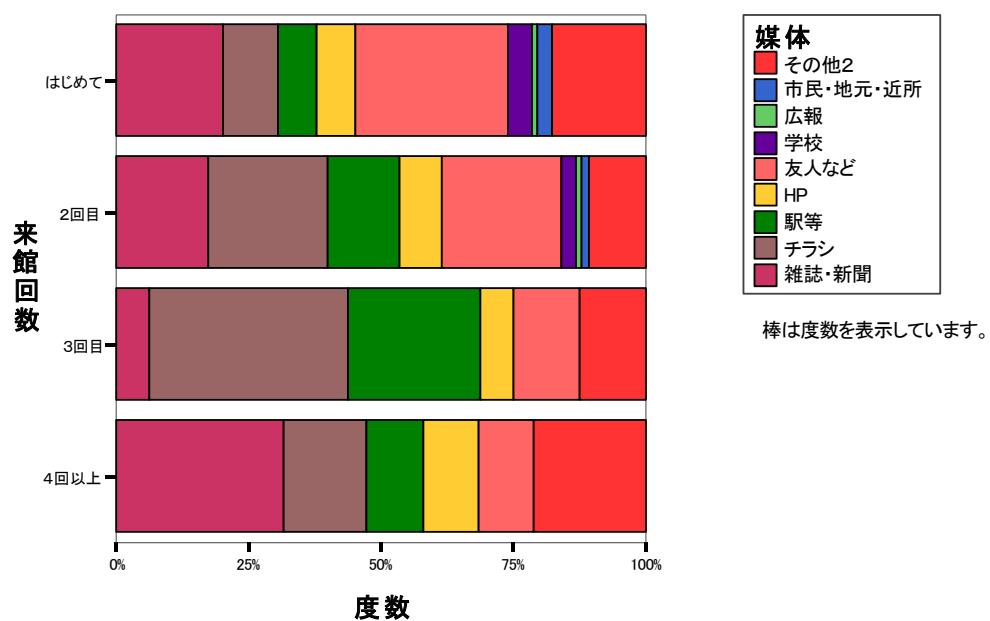
澁澤展



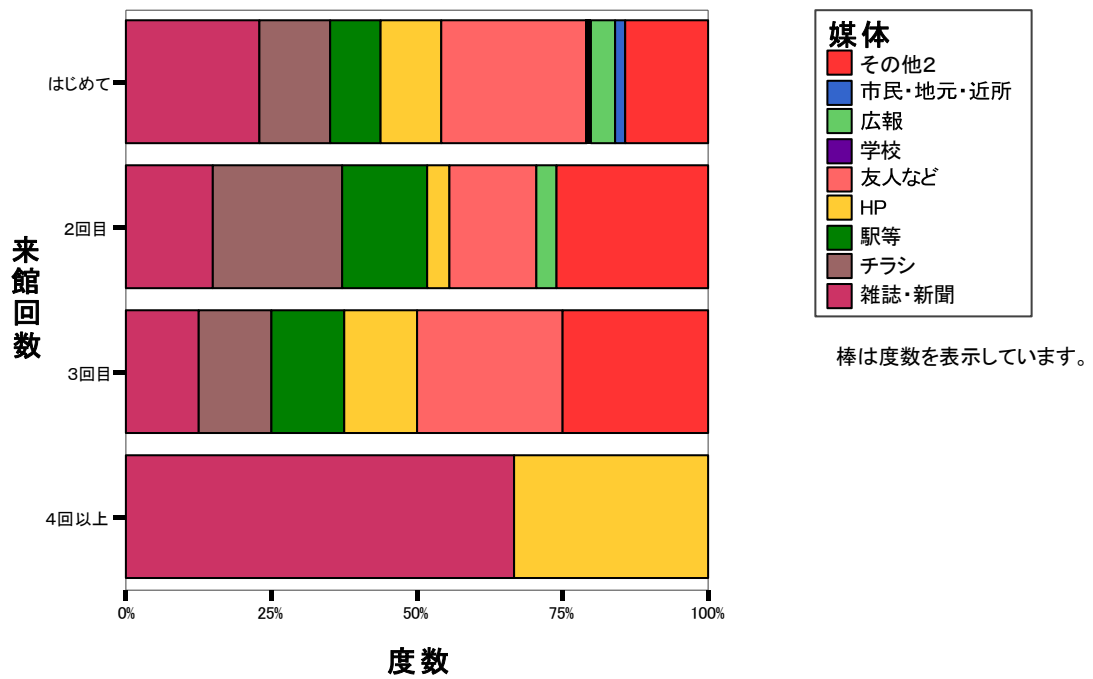


【「認知媒体」×来館回数】来館回数が増えるほど紙媒体の比重が高くなる傾向。一方、「はじめて」では、口コミ（「友人・家族からの紹介」）が最も高い。

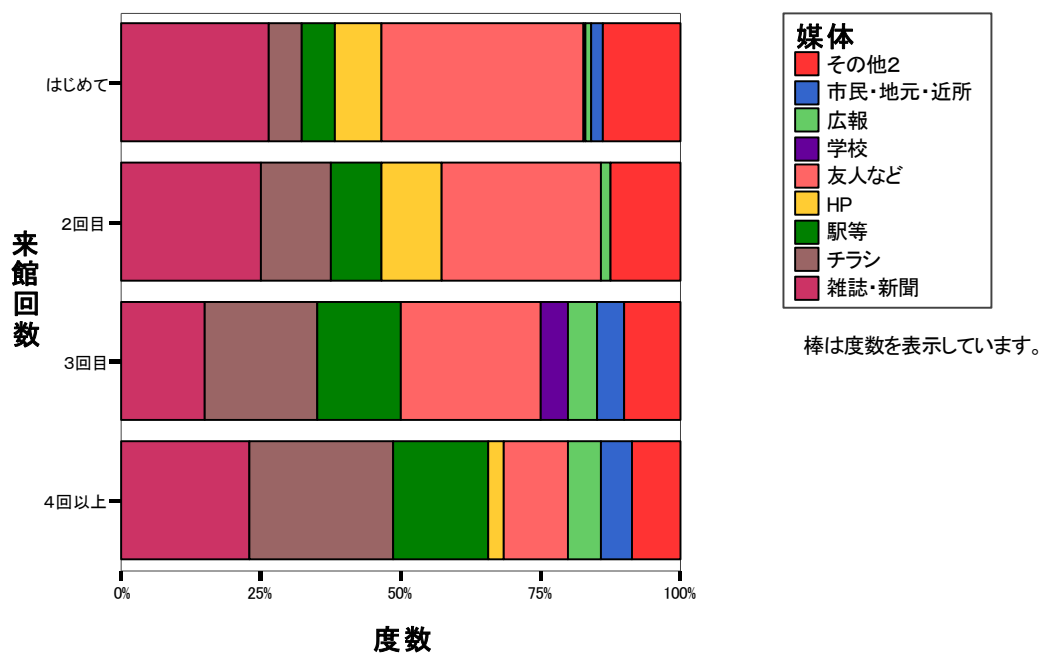
ウォリス展



澁澤展

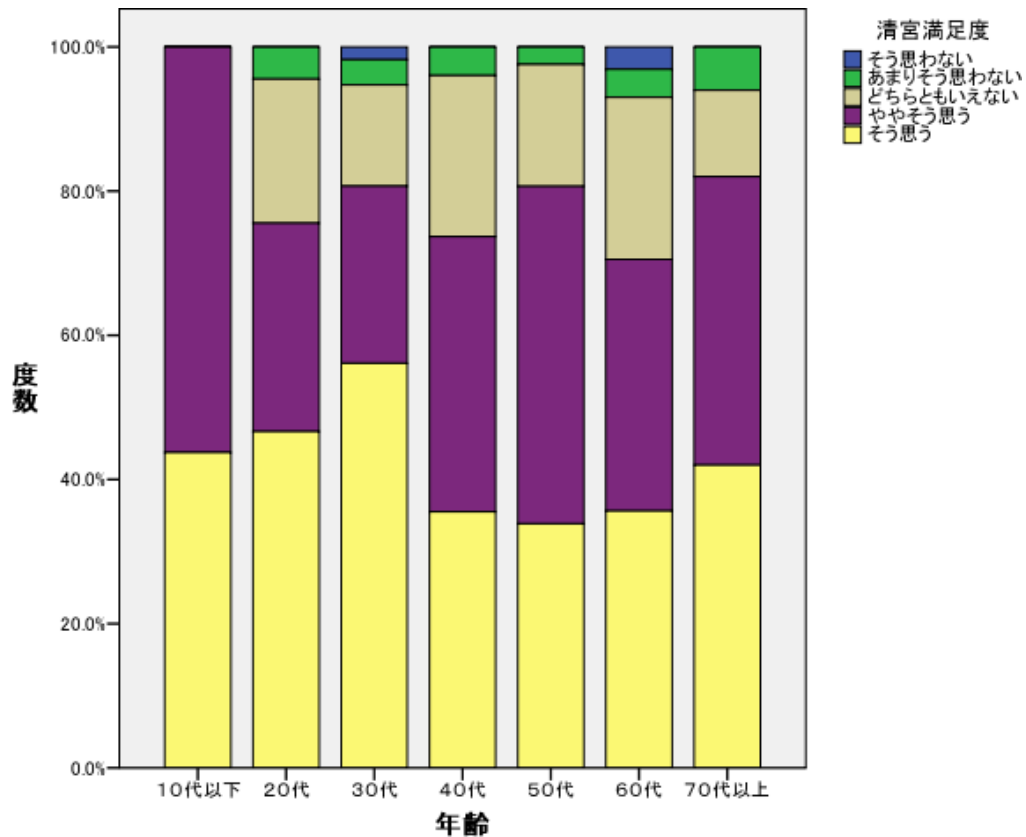


清宮展

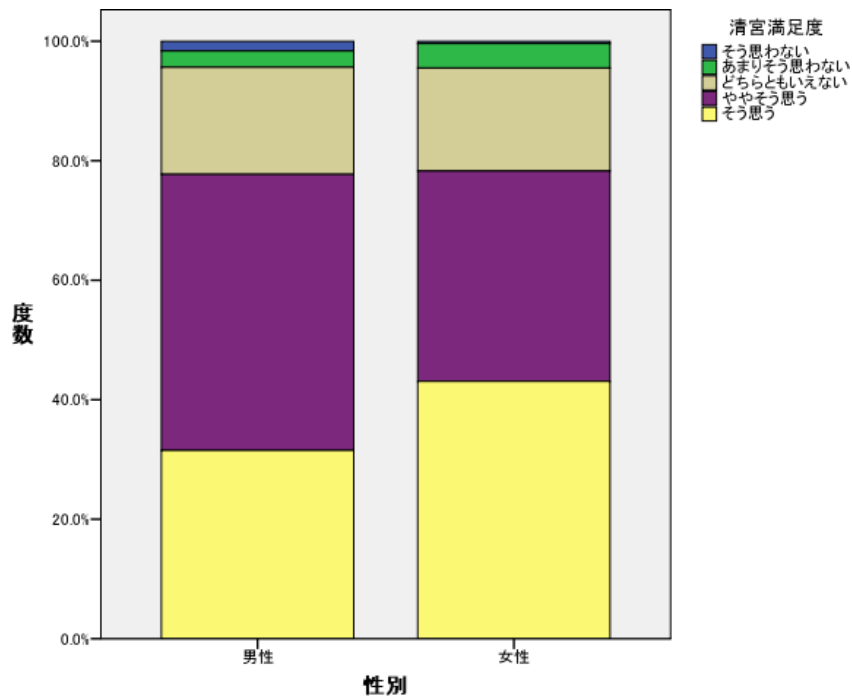


(2) 1 アンケート（清宮展）における「総合満足度」（企画展、所蔵品展、谷内六郎館）×年齢、性別、居住地、来館回数

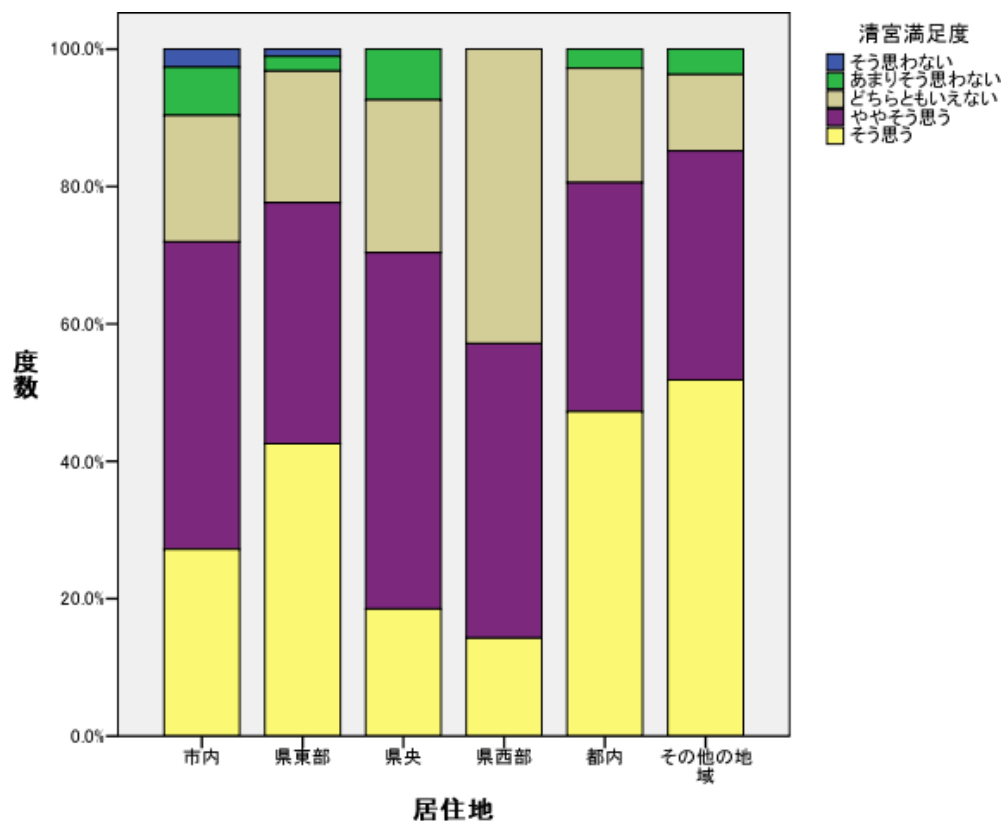
【「総合満足度」×年齢】30代以下の「そう思う」（最も満足度が高い）が40%を超えている。



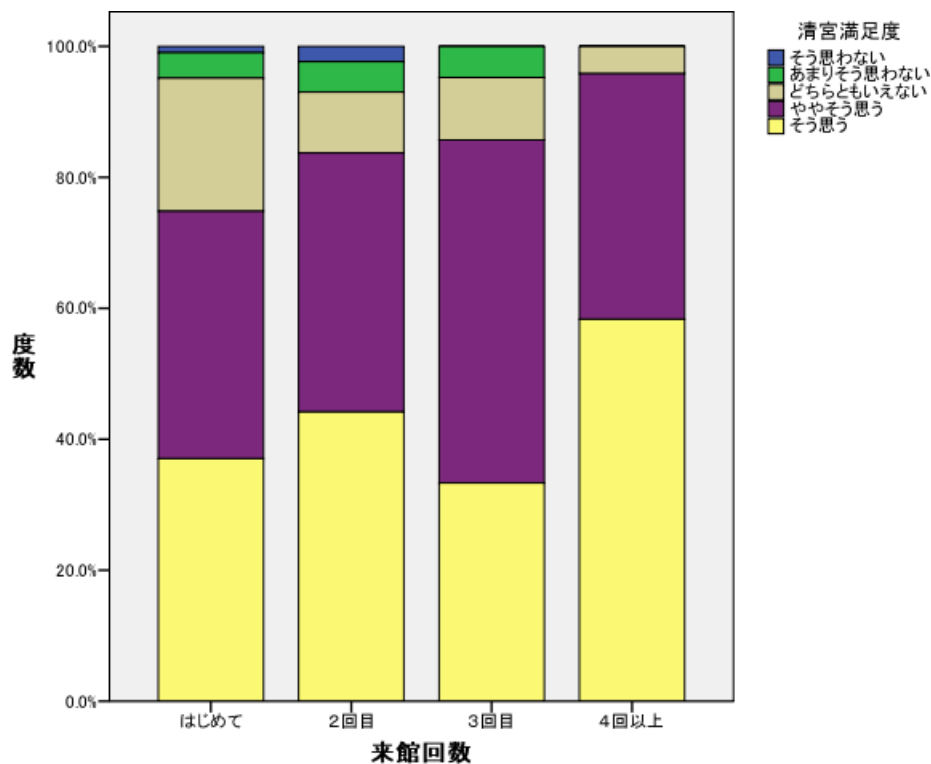
【「総合満足度」×性別】性別による差はあまりみられない。



【「総合満足度」×居住地】県外（「都内」、「その他の地域」）および「県東部」の「そう思う」（最も満足度が高い）が40%を超えている点に注目。ほかとの差が歴然としている。都市住民に強くアピールしているとの仮説が立ちそう。



【「総合満足度」×来館回数】来館回数が増えるほど満足度（まあ満足+とても満足）が高くなっている。



3 重回帰分析

(1) 1 アンケート（清宮展）における「総合満足度」（企画展、所蔵品展、谷内六郎館）と5因子の関係（強制投入法による）

ここでは、「総合満足度」に影響を与える要因を明らかにするために、(作品)、(観覧料)、(配置)、(解説)、(心的充足)がそれぞれどれくらいの影響を及ぼしたかを予想式であらわす。例えば、(作品)の前の数字(係数)は (作品)が「総合満足度」に与える影響の強さを $-1.0 \sim 1.0$ であらわしている。 1.0 に近いほど、影響力が強い。

また、決定係数とは、その予想式の当てはまりの善し悪しを $0 \sim 1.0$ であらわすもので、 1.0 に近いほど良い。今回は $0.7 \sim 0.8$ であり、まずまず妥当と判断する。

(作品)：展示されている作品が気に入った、または興味深かった。

(観覧料)：観覧料に見合うだけの内容だった。

(配置)：作品が効果的に配置され、見やすかった。

(解説)：解説や順路はわかりやすかった。

(心的充足)：展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた。

「総合満足度」：以上を総合的にみて、満足できる展覧会だった。

1位 **2位** **3位**：予想式内の係数の上位3つ

<結果>

どの展示でも、「心的充足」（展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた。）が、その展示の「総合満足度」にもっとも影響を与えていることが分かる。谷内六郎館では、その傾向が特に顕著である。

また、企画展、所蔵品展では、「観覧料」（観覧料に見合うだけの内容だった。）の影響の大きさが目立っている。

【企画展（清宮展）】

< 予想式 >

$$\begin{aligned}\text{「総合満足度」} = & +0.193 \times (\text{作品}) \\ & +0.255 \times (\text{観覧料}) \\ & +0.073 \times (\text{配置}) \\ & +0.075 \times (\text{解説}) \\ & +0.366 \times (\text{心の充足}) \\ & +0.254[\text{定数}]\end{aligned}$$

決定係数 0.787

【所蔵品展】

< 予想式 >

$$\begin{aligned}\text{「総合満足度」} = & +0.112 \times (\text{作品}) \\ & +0.240 \times (\text{観覧料}) \\ & +0.072 \times (\text{配置}) \\ & +0.144 \times (\text{解説}) \\ & +0.386 \times (\text{心の充足}) \\ & +0.125[\text{定数}]\end{aligned}$$

決定係数 0.722

【谷内六郎館】

< 予想式 >

$$\begin{aligned}\text{「総合満足度」} = & +0.177 \times (\text{作品}) \\ & +0.178 \times (\text{観覧料}) \\ & +0.142 \times (\text{配置}) \\ & +0.040 \times (\text{解説}) \\ & +0.446 \times (\text{心の充足}) \\ & +0.125[\text{定数}]\end{aligned}$$

決定係数 0.800

* 1位 2位 3位

4 提言

(1) 来館者調査に関する提言

- ・ p 2 の表にあるように、3つの展示室（企画展・所蔵品展・谷内六郎館）における、回収件数に占める「観覧/利用していない」と無回答の合計の割合が、調査方法によってはっきりと異なっていることが分かる。来館者の正しい実態を把握するために、調査方法の検討が必要ではないか。

(2) 事業評価に関する提言

- ・ 事業を評価するには、次の4点が必須要件。
「使命・目標」、「データ」、「指標」、「評価体制」
- ・ すでに存在するであろう「使命」（さらにその下にある複数の「目標」）と「データ」（今回の報告で判明したファクト）を照らし合わせて、使命・目標がどれくらい達成されているかを自己点検するために、どのような「指標」を設定すべきか、今後検討する必要があるのではないか。
- ・ 「指標」を検討する際（または「使命・目標」を確認・再検討する際）、今回の報告から見えてきたこととして、以下のような点に留意する必要があるようである。
 - ・ 「市内」「県東部」から来る方と「都内」から来る方の、当美術館に関する位置づけが異なっている。当面どちらのマーケットに重点多くか、中長期的にはどうするのかといった戦略的な思考が必要ではないか。
 - ・ 「建物」に対する興味が来館目的として目立っている。ロケーションや周辺の自然環境とセットにして、このような美術館の魅力を資源化することも可能。
 - ・ 来館が「はじめて」の率が約80%である。上に書いたマーケットの捉え方と関係して、この数字をどういう構成で（市内何%、県東部何%、都内何%・・・）、どのように変化させたいのか検討する必要がある。
 - ・ 所蔵品展の満足度に関するグラフが、ほとんどのケースで右上がりになっていない。3番目または4番目にカテゴリー（「どちらともいえない」、「やや満足」）に山ができている。ほかの2つの展示室に比べて、十分な魅力が現れていないのではないか。
 - ・ 付帯施設（ショップ、レストラン、図書室）の満足度が低い。特にレストランは問題である。「使命・目標」における付帯施設の明確な位置づけが必要ではないか。それによって、施設のコンセプトが検討できるはず。
 - ・ 広報戦略として今後、紙媒体とロコミの使い分けが必要。どのような来館者層にどのような広報が有効なのか、具体的な知見を持つことが大切ではないか。
 - ・ 「心的充足」（展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた）が、満足度に関する重要な要因であることが分かった。次に、これが何によって満たされるのか、実証的に調査し、確認することが重要ではないか。
- ・ 「評価体制」に関して言及すると、HPで評価委員会の会議要旨を読む限りでは、この委員会の役割や何をゴールとして会議を行うのかが、あまり明確になっていないように感じる。

<ウォリス展>

横須賀美術館にご来館くださりありがとうございます。

これからの運営、サービス向上の参考とさせていただくため、アンケートにご協力をお願い申し上げます。

(該当する欄にレ 印をつけてください)

1 展覧会について伺います。

(1) アルフレッド・ウォリス展

- ・出品作品について
- ・展示の見やすさ、わかりやすさ

とても満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	とても不満	観覧/ 利用して いない

(2) 常設展(地階)

- ・出品作品について
- ・展示の見やすさ、わかりやすさ

(3) 谷内六郎館

- ・出品作品について
- ・展示の見やすさ、わかりやすさ

2 付帯施設について伺います。

(1) ミュージアムショップ

(2) レストラン

--	--	--	--	--	--

(3) 図書室

--	--	--	--	--	--

3 スタッフの対応はいかがでしたか。

--	--	--	--	--

4 その他のことも含め、お気づきの点がありましたらお聞かせください。

5 お客様ご自身についてお聞かせください。(口にレ 印をつけてください)

(1) ご来館いただいたおもな目的はなんですか？

- ☐ 企画展(アルフレッド・ウォリス展) ☐ 常設展(地階) ☐ 谷内六郎館 ☐ 図書室 ☐ 建物見学
☐ レストラン ☐ ミュージアムショップ ☐ その他()

(2) ご来館いただいたのは何回目ですか？

- ☐ はじめて ☐ 2回目 ☐ 3回目 ☐ 4回以上

(3) 当館・当展覧会について、何でお知りになりましたか？

- ☐ 雑誌・新聞() ☐ チラシ ☐ 駅・車内広告 ☐ ホームページ ☐ 友人・家族からの紹介
☐ その他()

(4) 以下よろしければお聞かせください。

年齢 ☐ 9歳以下 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

性別 ☐ 男性 ☐ 女性

ご住所 ☐ 横須賀市内 ☐ 県東部(横浜・川崎・鎌倉など) ☐ 県央(相模原・厚木・藤沢など) ☐ 県西部(平塚・小田原など)

☐ 東京都内 ☐ その他の地域()

ご協力ありがとうございました。

< 澁澤展 >

横須賀美術館にご来館くださりありがとうございます。

071006

これからの運営、サービス向上の参考とさせていただくため、アンケートにご協力をお願い申し上げます。
(該当する欄にレ印をつけてください)

1 展覧会について伺います。

(1) 澁澤龍彦展

- ・出品作品について
- ・展示の見やすさ、わかりやすさ

とても満足		まあ満足		どちらとも いえない		やや不満		とても不満		観覧/ 利用して いない

(2) 所蔵品展(地階)

- ・出品作品について
- ・展示の見やすさ、わかりやすさ

(3) 谷内六郎館

- ・出品作品について
- ・展示の見やすさ、わかりやすさ

2 付帯施設について伺います。

(1) ミュージアムショップ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) レストラン

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(3) 図書室

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 スタッフの対応はいかがでしたか。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4 その他のことも含め、お気づきの点がありましたらお聞かせください。

5 お客様ご自身についてお聞かせください。(口にレ印をつけてください)

(1) ご来館いただいたおもな目的はなんですか？

- ☐ 企画展(澁澤龍彦展) ☐ 所蔵品展(地階) ☐ 谷内六郎館 ☐ 図書室 ☐ 建物見学
☐ レストラン ☐ ミュージアムショップ ☐ その他()

(2) 当館にご来館いただいたのは何回目ですか？

- ☐ はじめて ☐ 2回目 ☐ 3回目 ☐ 4回以上

(3) 当館・当展覧会について、何でお知りになりましたか？

- ☐ 雑誌・新聞() ☐ チラシ ☐ 駅・車内広告 ☐ ホームページ ☐ 友人・家族からの紹介
☐ その他()

(4) ここまでの交通手段は何をご利用でしたか？

- ☐ 馬堀海岸駅からバス・タクシー ☐ 浦賀駅からバス・タクシー ☐ JR横須賀駅からバス・タクシー
☐ 横須賀中央駅からバス・タクシー ☐ 路線バスのみ ☐ 貸切バス ☐ 自家用車 ☐ その他()

(5) 以下よろしければお聞かせください。

年齢 ☐ 9歳以下 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

性別 ☐ 男性 ☐ 女性

ご住所 ☐ 横須賀市内 ☐ 県東部(横浜・川崎・鎌倉など) ☐ 県央(相模原・厚木・藤沢など) ☐ 県西部(平塚・小田原など)

☐ 東京都内 ☐ その他の地域()

ご協力ありがとうございました。

(FAX) 046-845-1215

< 清宮展 >

アンケートにご協力をお願い申し上げます。あてはまると思う数字を○で囲んでください。

5 そう思うー4 ややそう思うー3 どちらともいえないー2 あまりそう思わないー1 そう思わない

1 企画展(清宮質文展)をご覧になった方に伺います。

→見ていない□

- | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 展示されている作品が気に入った、または興味深かった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (2) 観覧料に見合うだけの内容だった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (3) 作品が効果的に配置され、見やすかった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (4) 解説や順路はわかりやすかった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (5) 展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (6) 以上を総合的にみて、満足できる展覧会だった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

2 所蔵品展(地階)をご覧になった方に伺います。

→見ていない□

- | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 展示されている作品が気に入った、または興味深かった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (2) 観覧料に見合うだけの内容だった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (3) 作品が効果的に配置され、見やすかった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (4) 解説や順路はわかりやすかった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (5) 展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (6) 以上を総合的にみて、満足できる展覧会だった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

3 谷内六郎館をご覧になった方に伺います。

→見ていない□

- | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 展示されている作品が気に入った、または興味深かった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (2) 観覧料に見合うだけの内容だった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (3) 作品が効果的に配置され、見やすかった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (4) 解説や順路はわかりやすかった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (5) 展覧会を見て、心が落ち着いたり、活力が湧いた。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| (6) 以上を総合的にみて、満足できる展覧会だった。 | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

4 スタッフの対応は適切でしたか。

5 — 4 — 3 — 2 — 1

5 お客様にとって、横須賀美術館はひとことで言うとどんな存在ですか。

6 お客様ご自身についてお聞かせください。(□にチェックしてください)

(1) ご来館いただいたおもな目的はなんですか？

☐ 企画展 ☐ 常設展(地階) ☐ 谷内六郎館 ☐ 図書室 ☐ 建物見学 ☐ レストラン ☐ ミュージウムショップ ☐ その他

(2) ご来館いただいたのは何回目ですか？ ☐ はじめて ☐ 2 回目 ☐ 3 回目 ☐ 4 回以上

(3) 当館・当展覧会について、何でお知りになりましたか？

☐ 雑誌・新聞() ☐ チラシ ☐ 駅・車内広告 ☐ ホームページ ☐ 友人・家族からの紹介 ☐ その他

(4) 以下よろしければお聞かせください。

年齢 ☐ 10 代 ☐ 20 代 ☐ 30 代 ☐ 40 代 ☐ 50 代 ☐ 60 代 ☐ 70 代以上

性別 ☐ 男性 ☐ 女性

ご住所 ☐ 横須賀市内 ☐ 県東部(横浜・川崎・鎌倉など) ☐ 県央(相模原・厚木・藤沢など) ☐ 県西部(平塚・小田原など)

☐ 東京都内 ☐ その他の地域()

ご協力ありがとうございました。

